

第2次瀬戸市環境基本計画

年次報告書



平成29年度11月

瀬戸市

目次

第1章 リーディングプロジェクトの実施状況

① 豊かな自然を守るプロジェクト	1
② 豊かな自然の魅力を活かすプロジェクト	3
③ 安全・安心な「水」と魅力ある「食」をつくるプロジェクト	6
④ 生活と産業の脱温暖化を目指すプロジェクト	8
⑤ ごみのない循環型のまちを目指すプロジェクト	11
⑥ 環境を知り、まち全体が連携して取り組むプロジェクト	14

第2章 基本方針 環境指標と施策の展開状況

① 基本方針 自然を守る	21
② 基本方針 自然と親しむ	23
③ 基本方針 安全・安心に暮らす	25
④ 基本方針 心豊かに暮らす	30
⑤ 基本方針 地球にやさしく暮らす・営む	34
⑥ 基本方針 人と地域を育む	38

巻末資料	40
------	----

年次報告書に寄せられたコメント	55
-----------------	----

第1章 リーディングプロジェクトの実施状況

この章は、第2次環境基本計画に掲げられたリーディングプロジェクトの実施状況の報告です。

ここでは、平成28年度末現在の実施状況についてまとめています。



リーディングプロジェクトの実施状況

1 豊かな自然を守るプロジェクト

「豊かな自然を守るプロジェクト」は、本市を構成する豊かな自然環境を守るため、自然環境や生態系の保護と保全の仕組みをつくる取り組みです。

自然環境を保護・保全するための新条例の制定や自然環境調査、区域設定などの仕組みづくりによって、自然環境や生態系を適切に守る取り組みを進めることが、第2次瀬戸市環境基本計画に掲げられています。

●達成目標とスケジュール

【達成目標】

●保護区域の設定

新条例制定などの仕組みづくりを前提として、少なくとも1か所の保護区域の設定を目標とします。	当初 なし	目標 1区域 以上	現状(H28) 0区域
-----------------------------------------------	----------	-----------------	----------------

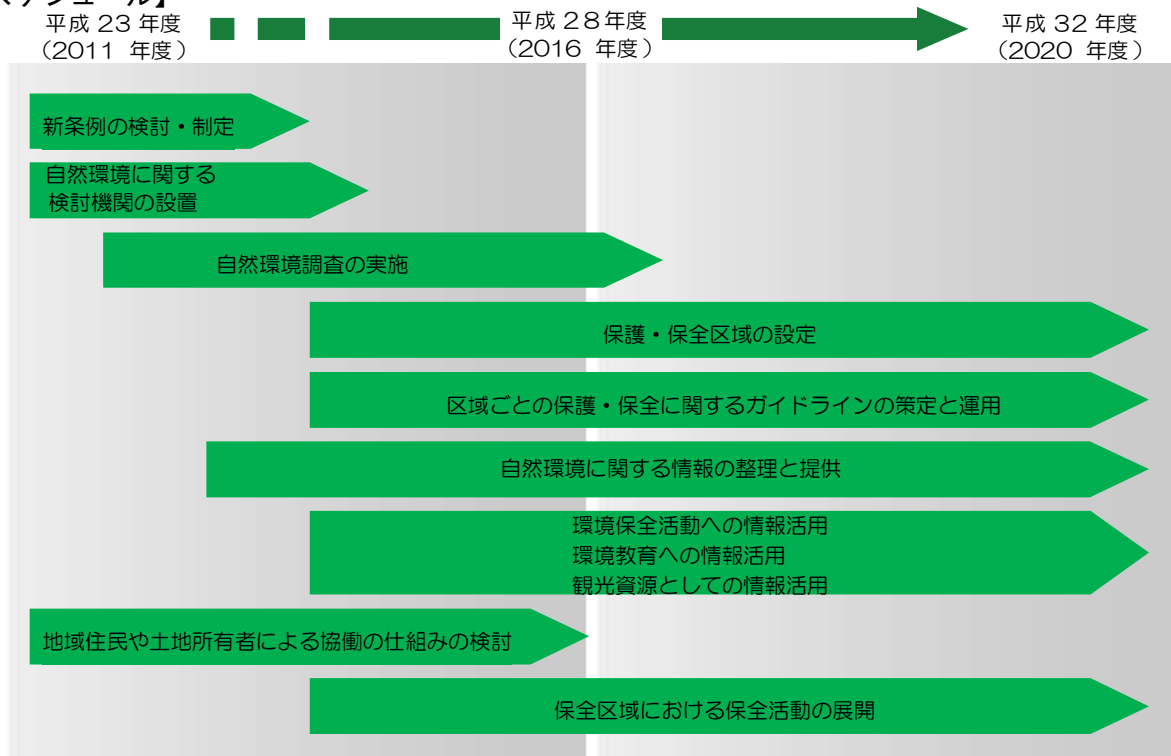
●保全区域の設定

新条例制定などの仕組みづくりを前提として、少なくとも1か所の保全区域の設定を目標とします。	当初 なし	目標 1区域 以上	現状(H28) 0区域
-----------------------------------------------	----------	-----------------	----------------

●保全区域での自然環境を保全する活動の実施

保全区域の設定と市民との協働の取り組みの実施を前提として、少なくとも1件の保全活動の実施を目標とします。	当初 なし	目標 1件 以上	現状(H28) 0件
------------------------------------------------------	----------	----------------	---------------

【スケジュール】



進捗状況

●過年度の主な取り組み

- ・「瀬戸市自然環境の保護及び保全に関する条例」の施行（H24/10/1）
- ・「瀬戸市自然環境の保護及び保全に関する条例の特定地区選定に関する基礎調査」の実施（H25年度・H26年度）
- ・「瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区候補地選定委員会」を設置（H27/5/15）

●平成28年度の取り組み

平成27年度に設置した「瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区候補地選定委員会」の選定結果を受けて、特定地区候補地を4地区決定しました。（H28/4/1）

「瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区候補地選定委員会」の構成員をそのままに「瀬戸市特定地区自然環境調査委員会」を設置（H28/7/1）し、候補地4地区のうち2地区について、詳細調査の内容の検討を行い、秋季、冬季に調査を実施しました。

◆瀬戸市特定地区自然環境調査委員会開催状況等

回/日	合意・決定事項
第1回委員会（H28/7/22）	<ul style="list-style-type: none">・特定地区候補地（4地区）の現況確認の結果、詳細調査対象を2地区に決定・特定地区候補地指定スケジュールを決定・特定地区候補地の詳細調査の内容を決定
第2回委員会（H28/10/6）	<ul style="list-style-type: none">・詳細調査の状況報告・特定地区候補地についてヒアリング結果を情報共有
第3回委員会（H29/1/12）	<ul style="list-style-type: none">・詳細調査（秋季）結果報告・候補地に関するヒアリング結果報告・平成29年度詳細調査（春季・夏季）内容を検討
第4回委員会（H29/3/6）	<ul style="list-style-type: none">・詳細調査（秋季・冬季）結果報告・平成29年度詳細調査（春季・夏季）内容を決定・平成29年度委員会スケジュールを決定

●平成29年度の取り組み（予定）

- ・「瀬戸市自然環境保護保全特定地区詳細調査（2地区/春・夏）」の実施
- ・「瀬戸市自然環境保護保全特定地区」保全計画検討
- ・生物多様性の保全に関わる外来生物対策として、特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除啓発活動を実施（H29/5/27）

2 豊かな自然の魅力を活かすプロジェクト

「豊かな自然の魅力を活かすプロジェクト」は、本市の歴史・文化と深いつながりを持つ豊かな自然に対して、市民が親しみを持ち、その魅力を市の内外に伝え、活かす取り組みです。東海自然歩道がつなぐ定光寺や岩屋堂、海上の森などの自然の魅力を市民や観光客に発信する取り組みを進めることが、第2次瀬戸市環境基本計画に掲げられています。

●実施計画とスケジュール

【達成目標】

●自然観光資源を訪れた人数

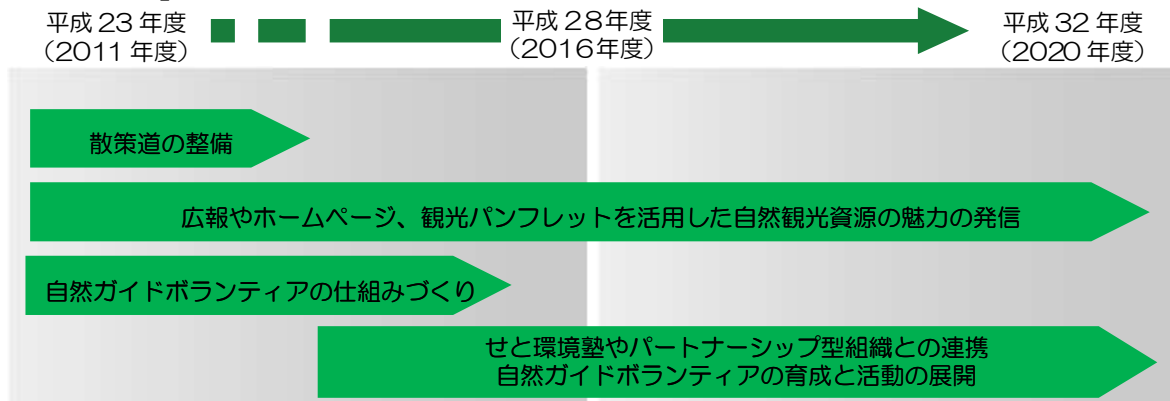
自然観光資源の魅力発信や自然ガイドボランティアの活躍によって、自然観光資源への来訪者が増加することを目標とします。	当初 年間 714,714 人 (H21)	目標 年間 790,000 人 以上	現状(H28) 年間 238,940 人 (H28)
-----------------------------------------------------------	-----------------------------	--------------------------	----------------------------------

※平成28年度から来訪者のカウント方法を変更したことにより、利用人数が大幅に変動しています。

●自然ガイドボランティア登録者数

自然ガイドボランティアの仕組みづくりを前提として、できるだけ多くの市民が登録することを目標とします。	当初 なし	目標 50 人 以上	現状(H28) 17 人
----------------------------------------------------	----------	------------------	-----------------

【スケジュール】



進捗状況

●過年度の主な取り組み

- ・「せと・まるっと環境クラブ」への委託による「自然ガイドボランティア育成講座」の実施 (H25 年度・H26 年度・H27 年度)

- ・岩屋堂地区における環境整備の実施（園路整備:H25年度、園地整備:H26年度）
- ・「せと・まるっと環境クラブ」による岩屋堂地区での樹名板の設置（H25・H26年度）
- ・「せと環境塾」において、自然ガイドボランティアを講師とする岩屋堂での自然講座を実施（H26年度・H27年度）
- ・東海自然歩道「雲興寺～岩屋堂」間の一部通行禁止区域の解除（自然観光資源環境整備：H27年度）
- ・岩屋堂写真展を実施
- ・「せと・まるっと環境クラブ」、「自然ガイドボランティア」による岩屋堂ガイドブックの発行（H28/2/15発行）

●平成28年度の取り組み

大学コンソーシアムせと施策協働プログラムを実施し、「せとフィールド冒険隊」の活動内容や次年度以降の運営について新たな視点を加えた検討を図ることができ、また、東海自然歩道を活用したエコルート調査では、市民参加による実際の踏査と参加者へのアンケート等による課題の抽出ができました。

【プロジェクト名】 ～瀬戸の豊かな自然と市民をつなぐ～

環境情報の集約・発信の仕組み・仕掛けづくり

【協働相手方】 南山大学総合政策学部（藤本 潔ゼミ）

【実施内容】

- ①環境活動団体の情報集約
- ②せとフィールド冒険隊へのスタッフ参加
- ③東海自然歩道等を活用したエコルートの調査

◆施策協働プログラム

	日 時	場 所	内 容
環境活動団体の情報集約			
	平成28年8月～ 平成29年1月		メールによる調査 ・13団体
せとフィールド冒険隊へのスタッフ参加			
第1回	5/22（日）	定光寺野外活動センター	初めての冒険 ・森の探検 ・さつまいもの苗植え
第2回	8/20（土）・21日 （日）	定光寺野外活動センター	夏の冒険キャンプ
第3回	10/23（日）	定光寺野外活動センター	秋の実り調査隊
第4回	1/22（日）	水野地域交流センター	こがらし冒険隊 ・凧づくり

第5回	3/12(日)	定光寺野外活動センター	春の森の冒険 ・森の探検 ・もちつき
東海自然歩道等を活用したエコルートの調査（せと環境塾でのモニタリング）			
第1回	6/4(土)	定光寺野外活動センター	雲興寺～岩屋堂間のルート
第2回	11/3(金・祝)	定光寺野外活動センター	下半田川～定光寺エリア間ルート

●平成29年度の取り組み（予定）

- ・せと環境塾において、「東海自然歩道を歩こう」講座の開催（2回）
- ・岩屋堂地区での自然ガイドボランティア活動拠点を中心としたガイドの実施（2回）

「安全・安心な『水』と魅力ある『食』をつくるプロジェクト」は、人が生きていく上で必要な「水」の安全と安心を確保し、魅力ある「食」づくりとして、農地の活用や農業者との連携、地域の交流を促進する取り組みです。

水源の保護のための新条例制定に向けた取り組みや道の駅「瀬戸しなの」を中心とした「食」の魅力を発信する取り組みを進めることが、第2次瀬戸市環境基本計画に掲げられています。

●実施計画とスケジュール

【達成目標】

●水源として保護された区域

新条例制定などの仕組みづくりによって、水源として保護された区域を設定することを目標とします。	当初 なし	目標 1 区域 以上	現状(H28) 0 区域
------------------------------------------------	----------	------------------	-----------------

●農業の担い手養成講座からの農業者数

農地を活用した取り組みとして、農業の担い手養成講座を開設し、できるだけ多くの農業者を育成することを目標とします。	当初 なし	目標 30 人 以上	現状(H28) 49 人
----------------------------------------------------------	----------	------------------	-----------------

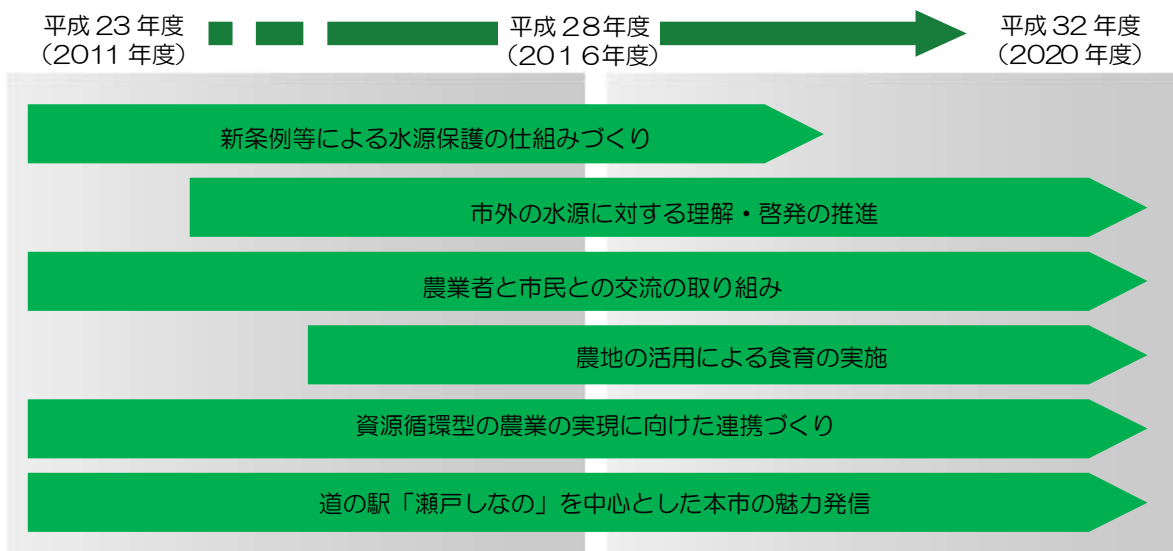
●農業体験・食育に活用した農地(圃場)の数

子どもたちが農業や「食」について学ぶ場を増やす取り組みとして、できるだけ多くの地区で農業体験・食育を実施することを目指します。	当初 なし	目標 3 地区 以上	現状(H28) 2 地区
-----------------------------------------------------------------	----------	------------------	-----------------

●道の駅「瀬戸しなの」の来場者数

本市の農業と「食」の魅力が発信され、道の駅「瀬戸しなの」へ多くの市民や来訪者が訪れることを目標とします。	当初 なし	目標 年間 170,000 人 以上	現状(H28) 年間 55,800 人
------------------------------------------------------	----------	--------------------------	------------------------

【スケジュール】



進捗状況

●過年度の主な取り組み

- ・水道水源流域図の確定作業を実施（H26年度）
- ・「夏休みわくわく親子ダムツアー」の実施（H26・27年度）
- ・「馬ヶ城浄水場一般開放」の実施
- ・「瀬戸農業塾（H22/8～）」卒塾生への再生農地貸出
- ・「教育ファーム事業」を実施（H23年度～）
- ・道の駅瀬戸しなの（H23/3～）での地産地消メニューや瀬戸豚ブランドの活用・発信

●平成28年度の取り組み

新条例制定による水源保護の仕組みづくりについては、「瀬戸市水道ビジョン（H24/3策定）」に基づく取り組みとして、安心・安全な水道水を安定かつ安価に提供していくために、平成27年度実施した水道施設の公共施設等総合管理計画（ファシリティ・アセット総合管理計画）に続き、市内水道管の管網解析を実施し、管路の老朽度や重要度とともに自己水源施設の今後の維持・更新を踏まえた最適な管網形態について検討を行いました。

- ・「馬ヶ城の水（ペットボトル 500ml）」による水道事業の啓発

農地を活用した市民交流や農業者の育成については、「教育ファーム事業（H23年度～）」として耕作放棄地を再生して稲作体験を行い、近隣の小学校2校の5年生5クラス約200名と地元の大学生約30人が参加しました。

また、生産農家の高齢化や後継者難から遊休化した農地などを利用し、新規就農者を育成する農業塾には22名が受講しました。引き続き農業従事に意欲のある卒塾生には、再生農地が貸し出されています。

農業振興のアンテナショップである道の駅「瀬戸しなの」では、242名の登録生産者によって、全体の約6割が地元でとれた農産物として出荷されており、順調に増加しています。また、レストランでは、地元の米を使った麺や畜産物を活用した地産地消メニューも展開しており、平成28年度は約5万5千8百人の来訪者で賑わいました。

●平成29年度の取り組み（予定）

・新条例制定による水源保護の仕組みづくりについては、水道事業において財源の将来予想等に基づき収支均衡を図ることを目的とした中長期的な経営の基本計画となる「水道事業経営戦略」の策定に取り組み、平成28年度までに策定した公共施設等総合管理計画（ファシリティ・アセット総合管理計画）等と併せ、水道施設の健全性の維持、耐震化や統廃合等、水源のあり方について検討を進めます。

「生活と産業の脱温暖化を目指すプロジェクト」は、脱温暖化に向けた生活や産業への転換を推進するため、温暖化防止に取り組む市民・事業者への経済的な支援や、情報の提供を進める取り組みです。

温暖化防止への支援・情報提供のほか、環境産業の起業・育成の支援や、企業の公害防止・環境配慮活動の支援などの取り組みを進めることが、第2次瀬戸市環境基本計画に掲げられています。

●実施計画とスケジュール

【達成目標】

●市民・事業者の温暖化防止を支援する施策の数

市民・事業者の温暖化防止に向けた取り組みに対する経済的な支援策の実施を目標とします。	当初 なし	目標 1 施策 以上	現状(H28) 1 施策
--------------------------------------------	----------	------------------	-----------------

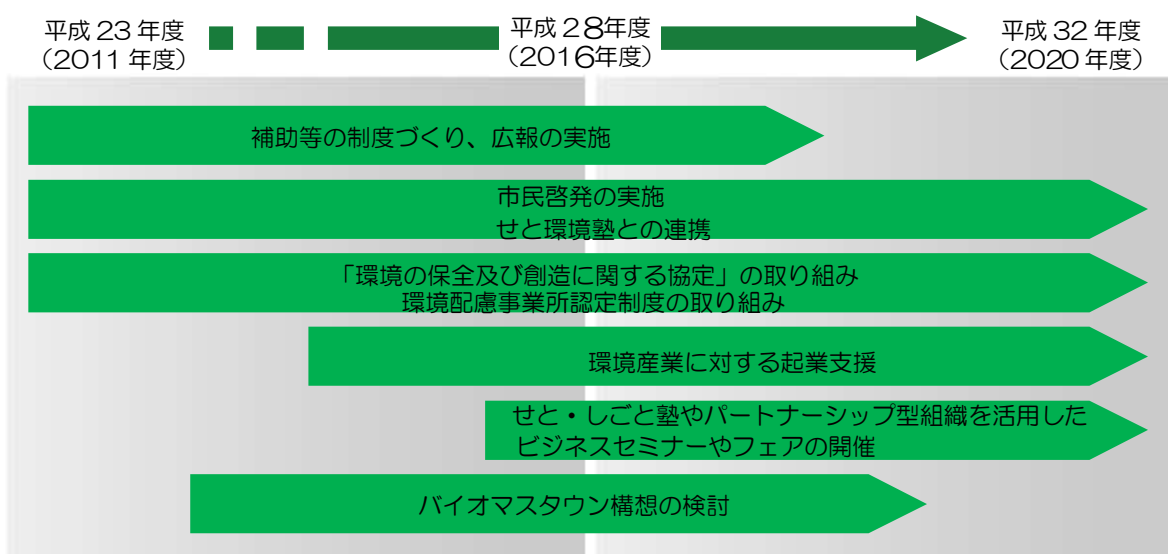
●環境産業の起業を支援した件数

支援策の実施によって、環境産業が実際に起業・育成されることを目標とします。	当初 なし	目標 1 件 以上	現状(H28) 3 件
---------------------------------------	----------	-----------------	----------------

●環境配慮に取り組んでいる事業所の数

「環境の保全及び創造に関する協定」の締結企業や環境配慮事業所の認定事業者を増やすことを目標とします。	当初 16 事業所 (H21)	目標 600 事業所 以上	現状(H28) 110 事業所
----------------------------------------------------	-----------------------	---------------------	--------------------

【スケジュール】



進捗状況

●過年度の主な取り組み

- ・「瀬戸市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度」（対象：住宅用太陽光発電システムのみ）の実施（H23年度～）
- ・「せと環境塾」において、東京大学附属演習林及び名古屋大学大学院環境学研究科の協力による生態・エネルギーに関する講座を実施（H24年度～）
- ・「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」が「省エネ講演会&環境取組発表会」を開催（H26/2）

●平成28年度の取り組み

「住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金」を創設し、補助対象機器をこれまでの住宅用太陽光発電施設に加え、住宅用エネルギー管理システム（HEMS）、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電システムに拡大しました。

◆補助概要及び実績

対象機器	住宅用太陽光発電施設 最大出力値 10kw 未満 等
補助金額	10,000 円*対象機器最大出力値（4kw 上限）
補助申請件数	66件
補助交付件数	51件
補助総額	1,840,000 円（当初予算額 1,800,000 円）

対象機器	住宅用エネルギー管理システム（HEMS）
補助金額	10,000 円
補助申請件数	20件
補助交付件数	20件
補助総額	200,000 円（当初予算額 300,000 円）

対象機器	家庭用燃料電池システム（エネファーム）
補助金額	50,000 円
補助申請件数	14件
補助交付件数	11件
補助総額	510,000 円（当初予算額 450,000 円）

対象機器	定置用リチウムイオン蓄電システム
補助金額	50,000 円
補助申請件数	10件
補助交付件数	9件
補助総額	450,000 円（当初予算額 450,000 円）

事業者による温暖化防止の取り組みについては、企業団地内立地企業が「瀬戸市環境の保全及び創造に関する協定書」に添付する環境保全計画書の中で、地球温暖化防止について基本方針と具体的な取り組みを行う旨の宣言をすることとしています。この環境保全計画書作成時に市から取り組みの事例を紹介するなど情報提供を行っており、企業とともに地球温暖化防止対策を推進しています。

◆平成28年度実績

新規締結数	3件
-------	----

瀬戸市役所においては、一事業者として「第2次エコオフィスプランせと（H25/6 策定）」のもと脱温暖化に取り組みました。

平成28年度のエネルギー総使用量は、①消灯の徹底や空調の適正な温度管理など全庁的な環境配慮行動の推進 ②下水処理施設における濃縮施設・高圧送風機の設置などにより、目標の3%以上の削減（平成24年度を基準とする平成28年度温室効果ガス総排出量）を上回る11.9%の削減を行うことができました。

◆温室効果ガス総排出量（単位：t-CO2）

H28	11,095	H27	11,025	H26	11,376
H25	11,985	H24	12,597		

愛知県が小学生を対象に実施する出前講座「ストップ温暖化教室」には、2校103名が参加しました。

◆中学年向け教室

実施日	学校名	学年/学級/人数
H29/2/8 午後	古瀬戸小学校	3・4年/26名

◆高学年向け教室

実施日	学校名	学年/学級/人数
H29/2/15 午後	長根小学校	5年/1組/38名
H29/2/22 午後	長根小学校	5年/2組/39名

●平成29年度の主な取り組み（予定）

- ・平成28年度に創設した「住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金」を継続実施します。

「ごみのない循環型のまちを目指すプロジェクト」は、循環型のまちづくりを行う取り組みとして、市民・事業者のごみの減量と再利用を優先的に推進する取り組みです。

ごみの発生抑制やごみ・資源の収集・処理制度の改革のほか、市民・事業者に対する支援や啓発、産業廃棄物処理に関する情報提供、不法・不適切なごみ処理への監視・指導体制の強化などの取り組みを進めることが、第2次瀬戸市環境基本計画に掲げられています。

●実施計画とスケジュール

【達成目標】

●市民一人一日あたりのごみの量

啓発や制度改革などによって、ごみ（一般廃棄物）の総量を減らすことを目標とします。	当初 772g/日 (H21)	目標 750g/日 以下	現状(H28) 699g/日
------------------------------------------	-----------------------	--------------------	-------------------

●家庭から回収される資源物の割合

啓発や制度改革などによって、家庭における資源循環を向上させることを目標とします。	当初 20.7% (H21)	目標 35.0% 以上	現状(H28) 20.4%
------------------------------------------	----------------------	-------------------	------------------

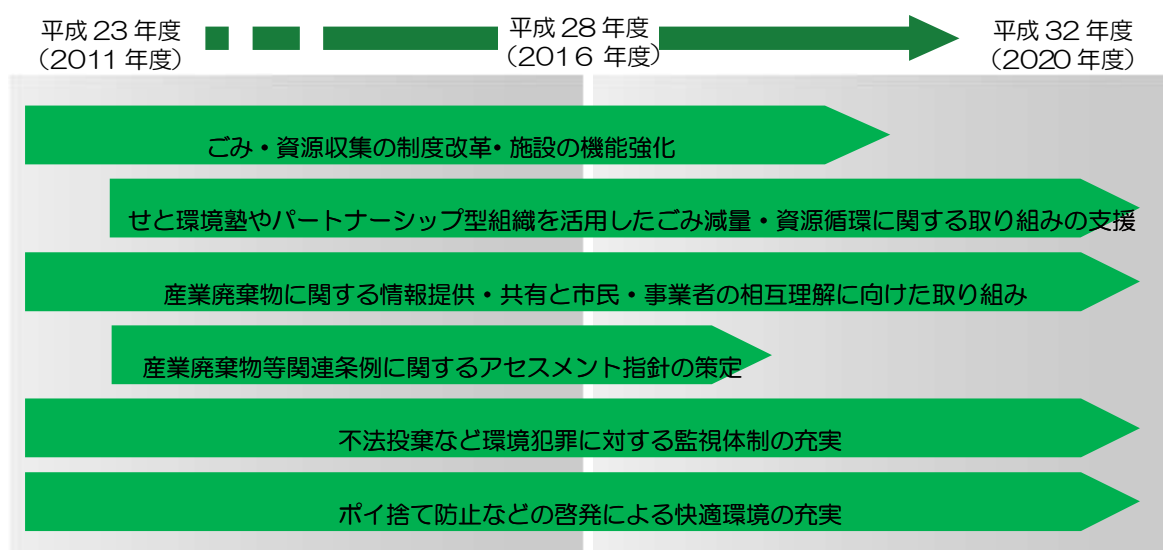
●不法投棄されたごみの処理量

啓発や監視体制の強化などによって、不法投棄された家電やタイヤなどのごみを減らすことを目標とします。	当初 年間 1,021 個 (H21)	目標 年間 400 個 以下	現状(H28) 年間 91 個 <small>※家電リサイクル法関連不法投棄処理量のみ</small>
---------------------------------------------------	---------------------------	----------------------	-----------------------------------------------------------

●不法焼却行為に対する苦情申立ての件数

啓発や監視体制の強化などによって、不法焼却行為を減らすことを目標とします。	当初 年間 41 件 (H21)	目標 年間 20 件 以下	現状(H28) 年間 38 件
---------------------------------------	------------------------	---------------------	--------------------

【スケジュール】



進捗状況

●過年度の主な取り組み

- ・粗大ごみ収集の有料化（H23/10）及び粗大ごみ処理券の取り扱い開始（H24/4）
- ・市民、自治会代表、事業者と行政で構成するパートナーシップ型組織として「瀬戸市ごみ減量推進会議」を設置（H24/4）
- ・ごみ減量のイメージキャラクター、「へらせっとくん」誕生（H24/11/13）
- ・産業廃棄物等関連施設の適正な設置のため、「産業廃棄物等関連施設環境保全対策書作成指針」を策定（H24/7）
- ・「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画（H26～H35年度）」を策定（H26/3）

●平成28年度の取り組み

「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画（H26～H35年度）」に基づき、引き続きごみの減量及び資源化に取り組みました。計画の推進と進行管理を担う「瀬戸市ごみ減量推進会議」では、会議を月1回開催し、課題解決のための有効な施策の検討や啓発活動を行いました。

◆瀬戸市ごみ減量推進会議活動内容

分科会名	事業名	内容等
2分科会合同	「みんなの生活展」PR ブース出展	H28/10/8(土) 瀬戸蔵
市民対象分科会	各町内会の衛生委員勉強会の実施	H28/4～5月 各自治会で開催される衛生委員委嘱式の際、10分程度の勉強会を開催
	雑がみ分別の推進	・広報誌及び行政情報番組にてPR ・PRチラシを作成し、回覧 ・H29/4/1より、雑がみの収集品目を拡大
	年末出張資源リサイクルセンターの開設・拡充	・H28/12/29(木)・30(金) ・市民公園東側臨時駐車場・幡山公民館（H28年度新規） ・来場者数約500名（2会場・2日間）
新たな施策検討分科会	小学校における出前事業の拡充	道泉小学校及び東山小学校4年生（5クラス）を対象に出前事業を実施。（各クラス2時限）
	ごみ減量に取り組んでいる事業所の視察	H28/6/16(木) 視察先：イオン瀬戸みずの店

	事業者と連携した粗大ごみリユース事業の検討	粗大ごみとなるものをリユースするために、リサイクルショップ2店舗にヒアリングを実施。
	地域団体主催リサイクルマーケットの開催支援	H28/10/23(日) 品野台地域交流センター「ぬくも里まつり」 H29/4/1(土) 新郷地域交流センターオープニングセレモニー

市民へのごみの減量及び資源化の啓発として、せと環境塾において、市民にびんのリサイクルの流れを知ってもらうことを目的に循環資源株式会社、有限会社大原硝子店及び石塚硝子株式会社を見学するツアー（H28/8/10）を実施したほか、資源リサイクルセンターにおいて、各種啓発事業を実施しました。

◆資源リサイクルセンター啓発事業

事業名	開催内容/開催日	開催数/参加者数
おもちゃ病院	ボランティアによるおもちゃの修理 偶数月第2日曜	6回/170人
ミニリサイクルマーケット	市民を対象に公募参加によるリサイクルマーケット (5ブース/回) 奇数月第4金曜日(冬季未実施)	4回/400人
かえっこ陶器市	市民持込みによる未使用陶磁器の交換会 偶数月第4土曜日(12月末実施)	5回/254人

不法投棄対策については、地域の青色パトロールと連携した巡回活動を4地区で実施し(H28/10.11月)、不法投棄場所等の確認や投棄物の回収を行いました。

また、不法投棄が頻発する場所に監視カメラを設置し、不法投棄の抑止に努めました。

なお、「瀬戸市産業廃棄物等関連施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」に関するアセスメント指針である「産業廃棄物等関連施設の設置における環境保全対策書(H24/7)」の運用に関しては、環境保全計画書の作成等具体的な手続きに至る案件はありませんでした。

●平成29年度の主な取り組み(予定)

- ・瀬戸市ごみ減量推進会議事業(食品ロス削減の取り組み検討・雑がみ分別啓発活動)の実施
- ・市民や事業者と連携した「環境美化事業」(環境美化イベント、ボランティア清掃袋の配布、地域清掃ごみの収集、道路スノーパーの運行等)の実施

「環境を知り、まち全体が連携して取り組むプロジェクト」は、環境に対する取り組みが世代や立場を超えて、持続的に行われる社会をつくるために、市民・事業者と行政が環境について協力し合い、知り、取り組むものです。

せと環境塾や小・中・特別支援学校等での環境教育や市民・事業者とのパートナーとしての協力関係づくり、地域が話し合っている環境配慮などの取り組みを進めることが、第2次瀬戸市環境基本計画に掲げられています。

●実施計画とスケジュール

【達成目標】

●せと環境塾で実施している講座の数

せと環境塾の取り組みを推進するため、講座の実施数の増加を目標とします。	当初 年間 7 講座 (H21)	目標 年間 25 講座 以上	現状(H28) 年間 20 講座
-------------------------------------	------------------------	----------------------	---------------------

●せと環境塾から学校・保育園へ講師を派遣した回数

せと環境塾を中心とした環境教育を展開し、講師をできるだけ多く派遣することを目標とします。	当初 なし	目標 年間 20 回 以上	現状(H28) 年間 2 回
----------------------------------------------	----------	---------------------	-------------------

●環境教材の満足度

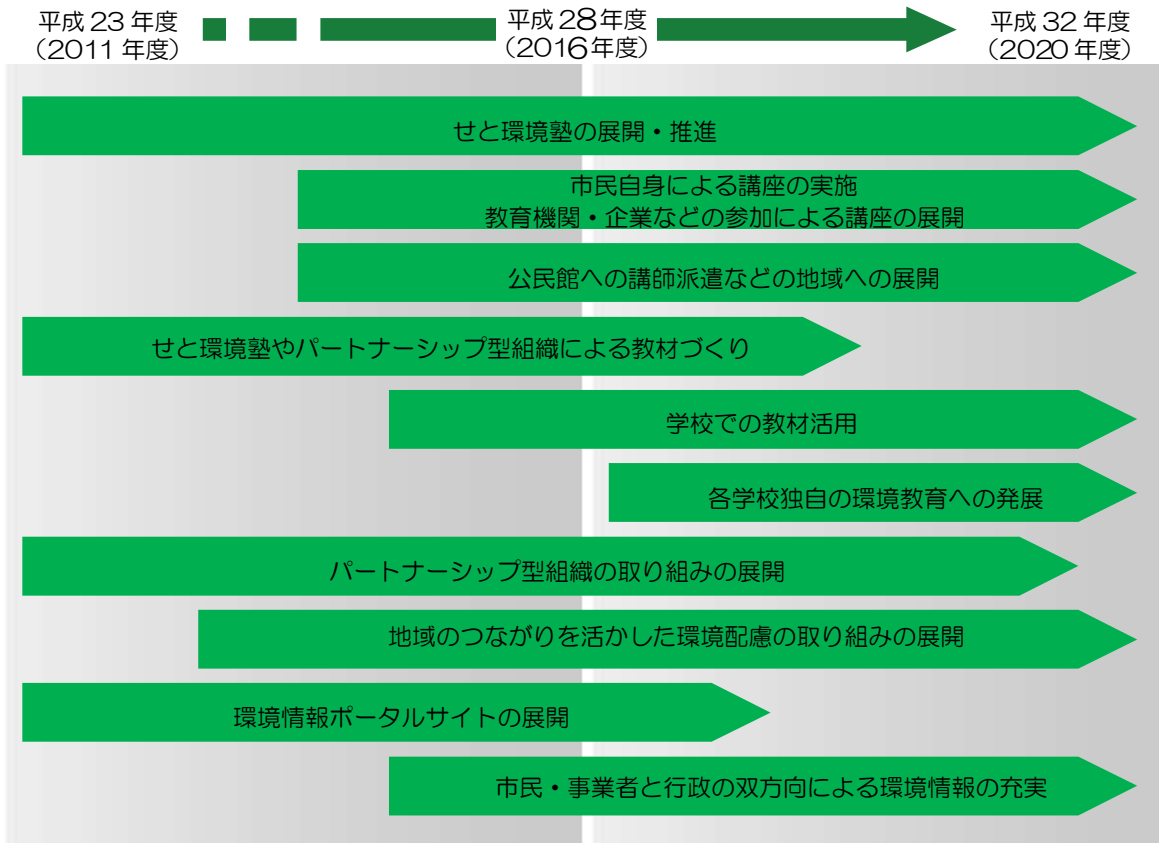
学校が活用しやすい環境教材の作成を目指して、教員の満足度を把握し、向上させることを目標とします。	当初 なし	目標 80% 以上	現状(H28) —
--------------------------------------------------	----------	-----------------	--------------

●パートナーシップ型組織に参加している市民・事業者の数

パートナーシップ型組織による取り組みを発展させるため、参加する市民・事業者を増やすことを目標とします。	当初 市民：なし 事業者： 31 事業者	目標 市民：100 人 事業者： 50 事業者 以上	現状(H28) 市民：59人 事業者： 56 事業者
-----------------------------------------------------	-------------------------------	----------------------------------------	-------------------------------------

※H28 内訳 市民の数：まるっと環境クラブ 51 ごみ減量推進会議 8
事業者の数：事業者会議 54 ごみ減量推進会議 2

【スケジュール】



●過年度の主な取り組み

- ・市民と行政とのパートナーシップ型組織「せと・まるっと環境クラブ」を設立 (H24/3)
- ・市民参加による「せと環境塾運営委員会」を設置 (H24/10) (のちに「せと環境塾運営協議会」へ (H28/4))
- ・環境情報ポータルサイトの展開として、市環境課 Facebook を開設 (H25/3)、運用開始 (H26/4)

●平成28年度の取り組み

「せと環境塾」の展開・推進として、市環境課による環境教育事業として取り組みが続けられ、年間20講座を実施しました。

◆せと環境塾実施結果

実施日	タイトル	会場	参加者数	概要
H28/ 4/23	海上の森で生き物大発見	あいち海上の森センター	20	野鳥コースと植物コースに別れて海上の森を散策。発見種の数を発表・まとめ。
5/ 8	古布リサイクル講座「べんりな！ガマロ」	資源リサイクルセンター	19	古布でガマロを作る。
5/15	ガイドブックを持って岩屋堂を歩こう♪	岩屋堂公園とその周辺	25	岩屋堂の散策。自然ガイドボランティアによる岩屋堂ガイド。
6/ 4	東海自然歩道を歩こう～雲興寺から岩屋堂まで～	雲興寺から岩屋堂までの東海自然歩道	26	雲興寺及び岩屋堂の講義。東海自然歩道をガイドを受けながらの散策。

7/10	古布リサイクル講座「おしゃれスカーフ」	資源リサイクルセンター	23	古布でスカーフを作る。
7/25	エコ・クッキングに挑戦！	東邦ガス(株)クッキングサロン瀬戸	21	親子で調理。試食の際にエコクッキングの講義。
7/25	カメ博士と探そう！水辺の外来種	定光寺公園正伝池、水野川	18	カメ笹の引き上げと水生生物調査。外来種についての講義。
8/10	ガラスのなぞを探れ！～生まれ変わるガラス瓶ツアー～	循環資源(株)、有限会社大原硝子店、石原硝子(株)	29	バスでガラス処理会社を3社回って、ガラス瓶が処理される過程を学ぶ。
9/ 3	サイエンスキャンプ in 東大演習林	東大演習林生態水文学研究所赤津研究林・赤津宿泊施設	26	赤津研究林見学コースを散策。伐採デモンストレーション、北谷及び南谷の流量計測・流量計算を実施。
9/ 4	環境にやさしい料理教室	やすらぎ会館	15	環境にやさしい料理の講義。実演・試食。
9/11	古布リサイクル講座「『つまみ』で作る菊の花」	資源リサイクルセンター	20	古布でつまみ細工の菊を作る。
11/ 3	東海自然歩道を歩こう！～下半田川・定光寺エリア～	稚児橋(下半田川)から中小企業大学校までの東海自然歩道	18	自然ガイドボランティアのガイドを受けながら散策。
11/13	古布リサイクル講座「クリスマスポシェット」	資源リサイクルセンター	16	古布でクリスマスポシェットを作る。
11/20	馬ヶ城浄水場見学ツアー～自然と安全・安心な水の関係～	馬ヶ城浄水場	17	馬ヶ城浄水場の見学
11/27	森でいろんな形を探して！作ってみようトナカイ君	定光寺野外活動センター	8	ドングリや木の葉の紹介。トナカイ君作成。ホオバの葉にサンタクロースへの手紙を書く。
H29/ 1/ 15	古布リサイクル講座「押絵でエト作り」	資源リサイクルセンター	15	古布で押絵の小物を作る。
2/ 4	親子で一緒にやってみよう！おうちで使える道具づくり	せとっ子ファミリー交流館	12	親子でレモン搾り器を作成。おやつづくり。
2/18	里山学習講座～野生動物との共存を目指して～	東大演習林生態水文学研究所赤津研究林	19	野生動物とどう共生していくかについての講義
3/ 4	はるさんぽ～岩屋堂周辺の自然・窯跡・名木～	岩屋堂周辺	27	岩屋堂周辺の散策。名木のガイドを受講。
3/12	古布リサイクル講座「帯でトートバッグ」	資源リサイクルセンター	20	古布でトートバッグを作る。

「せと環境塾」のほか、「出前講座（講師派遣）」や大学などとの連携・協働により各種事業が行われました。

◆出前講座（講師派遣）等

実施日	団体名	概要
H28/ 5/23	八幡保育園	ごみの分別や処理について
5/25	萩山台学習会	ごみの分別や処理について
5/27	水野連区自治会（衛生委員）	ごみの分別や処理について
5/31	道泉小学校	ごみの分別や処理について
6/ 8	南保育園	ごみの分別や処理について
6/15	道泉小学校	ごみの分別や処理について
6/17	東山小学校	ごみの分別や処理について
6/19	萩山台学習会	ごみの分別や処理について
7/ 5	東山小学校	ごみの分別や処理について
	東明小学校	ごみの分別や処理について
7/12	八幡台自治会学習会	資源リサイクルセンターにてごみについての学習
8/10	環境塾バスツアー	ごみの分別や処理について

8/24	八幡学童学習会	資源リサイクルセンターにてごみについての学習
10/ 9	せとっこファミリー交流館	ごみの分別や処理について
10/17	みんなの生活展	ブース出展によりごみの分別や処理について啓発
10/22	交通児童公園祭り	ごみの分別や処理について
11/ 3	山口ごみキャラバン	ごみの分別や処理について
11/15	水野中学校クリーンアップ作戦	ごみの分別や処理について
11/23	親育ちフェスティバル	ごみの分別や処理について
11/29	光陵中学校クリーンアップ	ごみの分別や処理について
1/22	萩山台分譲自治会学習会	ごみの分別や処理について
2/22	八幡保育園	ごみの分別や処理について

◆子ども対象環境教育事業

年度	せとフィールド冒険隊 (平成25年度まで：定光寺 森の自然学校)		こどもエコクラブ			スターウォッチング (星っこクラブ)	
	人数	家族数	クラブ人数	サポーター数	クラブ数	夏季	冬季
平成20年度	62名	22家族	84名	25名	6クラブ	28名	18名
平成21年度	62名	17家族	37名	18名	6クラブ	39名	40名
平成22年度	64名	22家族	23名	12名	4クラブ	9名	27名
平成23年度	47名	17家族	23名	12名	4クラブ	38名	19名
平成24年度	40名	15家族	13名	13名	4クラブ	26名	14名
平成25年度	33名	13家族	0名	0名	0クラブ	162名	
平成26年度	64名	20家族	0名	0名	0クラブ	157名	
平成27年度	57名	19家族	21名	11名	1クラブ	100名	
平成28年度	59名	18家族	21名	11名	1クラブ	121名	

◆その他協働による事業

協働事業名	内容等
大学コンソーシアムせと施策協働プログラム	南山大学（総合政策学部）と瀬戸市と大学との協働による「～瀬戸の豊かな自然と市民をつなぐ～環境情報の集約・発信のしくみ・仕掛けづくり」を実施
瀬戸市水生生物調査	瀬戸理科研究会と市内河川14か所で水生生物による水質調査を実施（H28/7/26・28、8/4）
資源リサイクルセンター-自治会協働事業	交通児童公園祭りでごみの分別を啓発（H28/10/22）
資源リサイクルセンター-&ファミリーサポートセンター-環境学習講座	幼児の親子を対象にごみの分別ゲームを実施（H28/10/9）

◆瀬戸市環境事業の後援等

区分	団体名	事業名
後援	モリコロの川を守るプロジェクト	矢田川水系近隣の小学生を対象とした『モリコロ自然探検隊』育成事業（H28/4/26～H28/12/11）
後援	尾張自然観察会	定光寺自然観察会 （H28/4/9～H29/3/11）
後援	尾張自然観察会	海上の森自然観察会 （H28/4/16～H29/3/18）
後援	中部地中熱利用促進協議会	第6回全国地中熱利用促進地域交流2016愛知 （H28/10/12・13）
後援	人と自然の共生国際フォーラム実行委員会	第10回人と自然の共生国際フォーラム （H28/10/29・30）

また、パートナーシップ型組織の取り組み展開として、市民とのパートナーシップ型組織である「せと・まるっと環境クラブ」については、平成28年度末時点でクラブ員が51名となり、市から受託し3年目となる「自然ガイドボランティア育成事業」や地元と連携して実施する「タウンウォッチング」などの活動が行われました。

◆せと・まるっと環境クラブ活動状況

年 月 日	概 要
H28/10/ 2	蛇ヶ洞川清掃活動
H28/10/23	「東海自然歩道を歩こう！～下半田川・定光寺エリア～」の下見
H28/11/ 3	「東海自然歩道を歩こう！～下半田川・定光寺エリア～」でのガイド（本番）
H28/11/13	岩屋堂もみじまつりでのガイド
H28/11/13	カタクリ群生地整備
H28/11/20	岩屋堂ガイド
H28/12/ 3	カタクリ群生地整備
H29/ 1/29	赤津タウンウォッチング
H29/ 3/ 4	せと環境塾「はるさんぽ～岩屋堂周辺の自然・窯跡・名木～」でのガイド
H29/ 3/26	研修（岩屋堂・滝についての講義）
H29/ 3/26	カタクリ群生地開花観察会

事業者とのパートナーシップ型組織である「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」については、設立（H19/6）9年目となる平成28年度末時点で会員数は54事業者で、設立当初から継続して取り組む「レジ袋削減（無料配布中止）事業」のほか、天然記念物オオサンショウウオが生息する蛇ヶ洞川の清掃活動など、継続的な取り組みがすすめられました。

◆瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議による取り組み

年 月	実施した取り組み
H20/ 3～	小売店におけるレジ袋の削減（レジ袋無料配布中止）
H21/ 4～	事業所における環境配慮の推進（環境配慮事業所認定制度の検討）
H22/ 4～	せと環境にやさしい事業所認定制度の運用開始（認定事業所数 2事業所）
H22/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（まるっと530（ごみゼロ）大作戦）
H23/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（まるっと530（ごみゼロ）大作戦、ライトダウンキャンペーン）
H23/10	レジ袋収益金還元事業開催（環境パートナーシップ事業者会議 レジ袋収益金還元事業 さかなクントークショー）
H24/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（まるっと530（ごみゼロ）大作戦、クールビズ・節電）
H24/ 7	3委員会（会員増強委員会、エコモチ♪委員会、エコ認定委員会）で事業を推進
H24/10	みんなの生活展において「環境フェア」を実施 5会員が出展し、日頃の環境取組をPR
H25/ 3	マイバック持参推進ポスター（エコまいぬの「レジ袋がいらないなら言ってちょーよ！」の作成及び市内商店街へ配布
H25/ 4	せと環境にやさしい事業所認定制度の改定（ステップ1、2の統合、取組期間の短縮、申込費用の廃止等）
H25/ 6	2委員会（会員増強委員会、エコモチ♪委員会）で事業を推進
H25/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（まるっと530（ごみゼロ）大作戦、クールビズ・節電）
H25/10	会員による「オオサンショウウオを守れ！蛇ヶ洞川清掃活動」の開催
H25/10	みんなの生活展において「環境フェア」を実施 4会員が出展し、日頃の環境取組をPR
H25/11	マイバック持参推進ポスターを市内小中学校等、公民館へ配付
H26/ 2	省エネ講演会「知って得する節電のハナシ」及び会員による環境取組発表会の開催
H26/ 3	愛・パーク開園イベントにて本会議PRブースを出展
H26/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（まるっと530（ごみゼロ）大作戦、クールビズ・節電）
H26/10	会員による「蛇ヶ洞川とオオサンショウウオ勉強会」の開催
H26/10	みんなの生活展において「環境フェア」&エコまいぬ貯金箱配付事業 ・3会員が出展し、日頃の環境取組をPR ・上記ブースを巡るスタンプラリーを実施し、エコまいぬ貯金箱をプレゼント
H26/10	ESD愛・地球プロジェクト事務局から取材を受け、活動をPR
H27/ 3	子供限定の事業者見学バスツアー「春休み環境小旅行～地域再発見と知的好奇心に満ちた環境エクスカーション～」を実施
H27/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（まるっと530（ごみゼロ）大作戦、クールビズ・節電）
H27/10	みんなの生活展において「環境フェア」&エコまいぬ貯金箱配付事業 ・2会員が出展し、日頃の環境取組をPR ・資源リサイクルセンターのエコクイズブースと連携し、上記ブースを巡るスタンプラリーを実施し、エコまいぬ貯金箱をプレゼント
H27/10	会員と地元関係者による「オオサンショウウオを守れ！蛇ヶ洞川清掃活動」の開催
H28/ 3	「せと環境にやさしい事業所認定制度」認定事業者数増加のPRとして、レジ袋収益金を活用した認定ステッカーの作成
H28/ 3	マイバック持参推進ポスター（エコまいぬの「レジ袋がいらないなら言ってちょーよ！」の色彩を変更したものの印刷及び瀬戸市商店街連合会へ配布
H28/ 5	市環境美化イベントへの協賛 ・レジ袋収益金を活用し、ペットボトルドリンクを提供
H28/ 6	環境月間の一斉環境行動を会員に対して呼びかけ（530（ごみゼロ）大作戦、クールビズ・節電）
H28/10	会員と地元関係者による「オオサンショウウオを守れ！蛇ヶ洞川清掃活動」の開催 ※せと・まるっと環境クラブ員、愛知県地域環境保全委員参加

このほか、ごみの減量や資源化のため市民及び事業者等とのパートナーシップ型組織として平成24年4月に設置し、現在委員10名（市民6名、自治会関係者2名、事業者2名）で

構成される「瀬戸市ごみ減量推進会議」では、現状課題に立った施策の検討や市民への啓発活動が積極的に行われました。（活動状況は P13 に掲載）

●平成29年度の主な取り組み（予定）

- ・「せと環境塾」において、引き続き市民団体、地元自治会、企業、大学、パートナーシップ型組織など、様々な主体との連携を強化するとともに、関係部署との情報共有を図り市全体として環境教育を推進する体制づくりをめざしていく。
- ・「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」において、会議発足10周年記念事業を開催し、本会議のPRと市民の環境意識について啓発を行う。
- ・「せと・まるっと環境クラブ」の事業に「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」が連携し、新たな協働の形を検討する。

第2章 基本方針 環境指標と施策の展開状況

この章は、第2次環境基本計画に掲げられた基本方針ごとの環境指標と主な施策の展開状況の報告です。

ここでは、平成28年度の現状についてまとめています。



第2次環境基本計画では、本市の長い歴史を踏まえて“これからの100年”を考え、豊かな自然を守るため、自然環境の保護と保全を進めることを、「自然を守る」基本方針として掲げ、次のような方向の施策に取り組むこととしています。

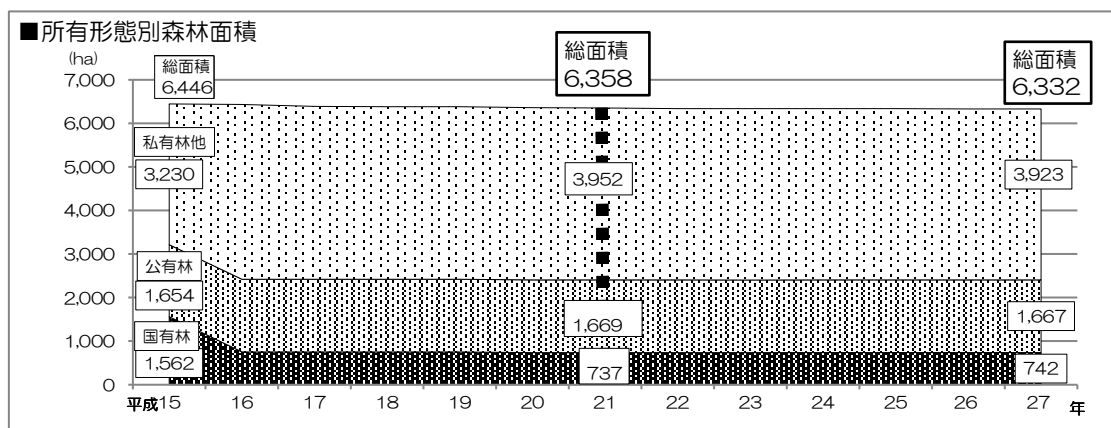
- 重要な自然環境の保護
- 自然環境の保全
- 生物多様性の保全



(1) 環境指標の現状

●森林の総面積

本市は、市域の約6割を森林が占めており、緩やかな減少傾向にありましたが、ここ数年は、ほぼ横ばいです。森林面積の4割近くは公有地及び国有地が占めています。

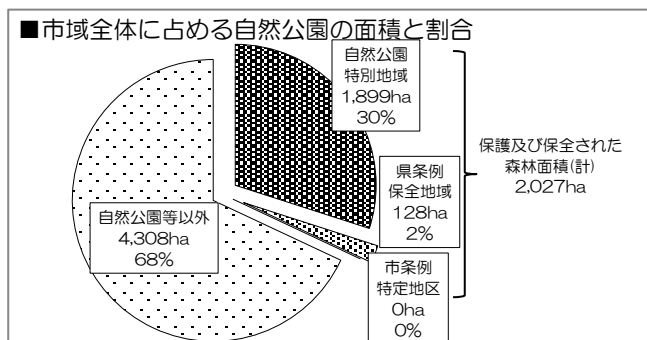


資料：瀬戸市統計書（平成29年刊）（p.40）

●保護及び保全された森林の面積

自然公園法に基づく特別区域と愛知県自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例に基づく自然環境保全地域の合計は、2,027ヘクタールとなっています。

現在、「瀬戸市自然環境の保護及び保全に関する条例」に基づいて特定地区の指定作業を進めており、今後は保護及び保全された森林の拡大が期待されます。



資料：環境課（p.40）

(2) 施策の展開状況

基本方針	施策の展開	展開状況
1-1 重要な自然環境の保護	保護区域の設定や自然環境への配慮の仕組みづくり	展開中
	安全な水の供給確保のための水源林の適切な保護	展開中
	森林の形態に応じた適切な保全	展開中
1-2 自然環境の保全	自然環境調査による動植物の生息・生育状況の把握	展開中
	河川・池沼・湿地の適切な保全	展開中
	地域の生態系の保全	展開中
1-3 生物多様性の保全	様々な動植物の良好な生息・生育環境の保全と回復	展開中

●これまでの主な施策

- ・「瀬戸市自然環境の保護及び保全に関する条例」を施行した。(H24/10/1)
- ・市全域を対象とした自然環境調査(既存文献調査、学識経験者等ヒアリング、現地踏査)を実施した(H25・26年度)
- ・「瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区候補地選定委員会」により、特定地区候補地4地区を選定した。(H27年度)
- ・「瀬戸市自然環境調査委員会」を設置した。(H28年度)
- ・特定地区候補地のうち2地区について自然環境詳細調査(秋季・冬季)を実施した。(H28年度)

●今後の施策方針

- ・「豊かな自然を守るプロジェクト」に掲げる自然環境の保護・保全区域の設定に向けて、候補地の自然環境調査(春季・夏季)の実施と選定後のガイドラインづくりなど取り組みを着実に進める。

第2次環境基本計画では、本市の豊かな自然との共生を図るため、身近な自然環境とのふれあいの場や機会をつくり、自然と親しむことのできる環境作りを進めることを、「自然と親しむ」基本方針として掲げ、次のような施策に取り組むこととしています。

- 身近な自然環境とのふれあい
- 里山・農地の整備

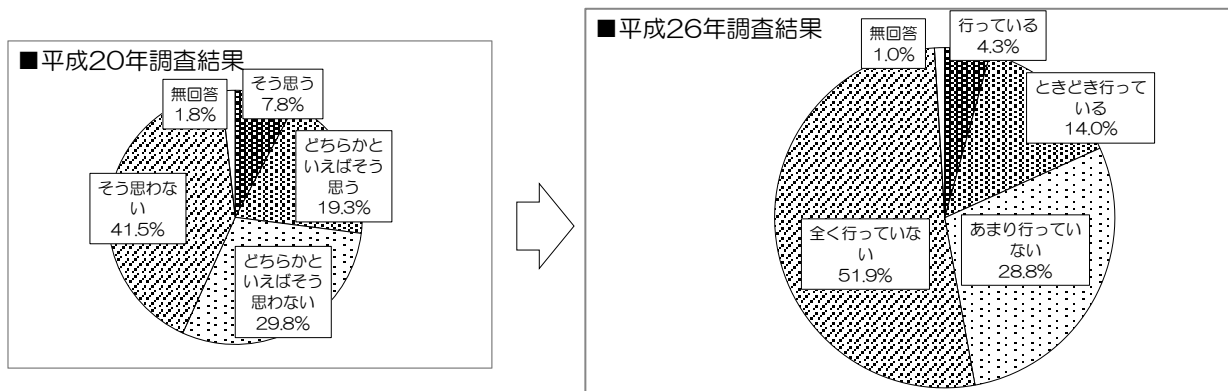


(2) 環境指標の現状

●自然との親しみを感じている市民の割合

市民へのアンケート調査*では、「自然観察、エコツアーなどに参加することにより自然環境に親しんでいますか。」との問いに対する回答結果について、意識調査から実践度合い調査に変更されましたが、数値的には低下がみられました。

引き続き、「せと環境塾」、「せと・まるっと環境クラブ」や「せとフィールド冒険隊」などによる自然とふれあう講座を提供していきます。

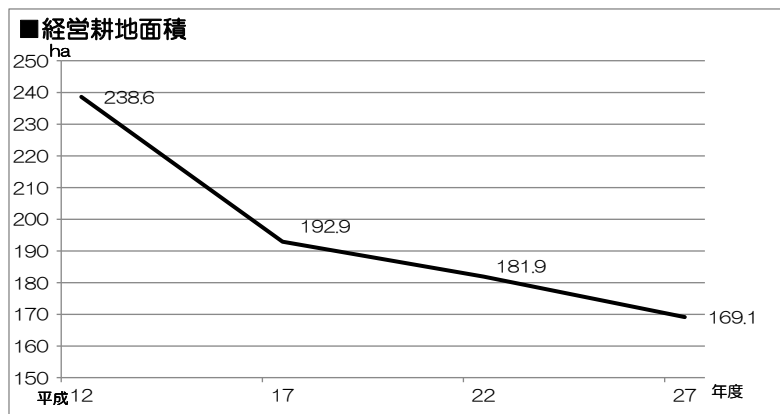


経営課* (p.40)

*第5次瀬戸市総合計画策定にかかる市民アンケート調査による結果。平成26年5月1日現在、瀬戸市に居住する満20歳以上80歳未満を対象に、無作為で2,000人を抽出。回答項目については、平成20年調査では意識調査でしたが、平成26年では実践度合い調査に変更しています。

●農地の総面積

農地は食糧を生産する場であると同時に、都市部の生物多様性の維持にも役立っていますが、農業の担い手不足などによって、経営耕地面積は全体として減少傾向にあります。



瀬戸市統計書 (平成29年刊) * (p.40)

*平成27年度が最新データ。

(2)

施策の展開状況

基本方針	施策の展開	展開状況
2-1 身近な自然環境 とのふれあい	市民と自然環境とのふれあいの場・機会の創出	展開中
	自然の魅力を活かしたエコツーリズムの展開	展開不十分
	自然散策道の整備の推進	展開中
2-2 里山・農地の整備	里山の適切な維持管理と伐採木の活用	展開中
	良好な農林業環境の整備の推進	展開中
	耕作放棄地や農地の活性化の推進	展開中

●これまでの主な施策

- ・「せと環境塾」や「せと・まるっと環境クラブ」において、岩屋堂や海上の森などで自然とふれあう講座や活動を実施した。
- ・岩屋堂地区の園地や東海自然歩道など改修整備が行われた。
- ・「せと・まるっと環境クラブ」への委託により、自然ガイドボランティア育成事業を実施した。(H25～27年度)
- ・「瀬戸農業塾」で農業の新たな担い手の育成や農地の活用に取り組んだ。

●今後の施策方針

- ・「せと・まるっと環境クラブ」のほか、市内で活動する多くの団体により様々なかたちで身近な自然とふれあう機会の提供が継続的に行われている中、今後は活動を行っている各主体の連携や情報共有による活動支援を行い、活動内容の更なる充実や市民への認知度を高める。
- ・自然環境を市の観光資源として活用するなど、市内の豊かな自然を市民などに再認識してもらう方策の検討や効果的な情報発信に取り組む。
- ・農業の担い手不足などにより減少傾向にある農地については、「瀬戸農業塾」の卒塾生など新たな担い手への貸し出しなど有効活用を図る。

第2次環境基本計画では、公害を防止し、都市基盤の充実を図ることによって、安全で安心な暮らしの環境づくりを進めることを、「安全・安心に暮らす」基本方針として掲げ、次のような施策に取り組むこととしています。

- 公害対策の推進
- 都市基盤の整備充実

(1) 環境指標の現状

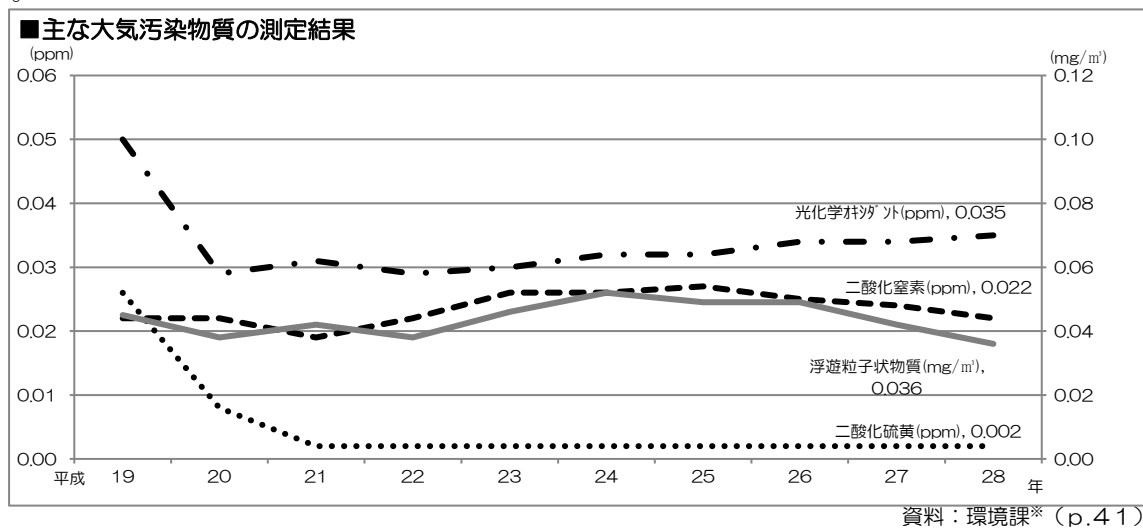
●環境基準が満たされている割合

①大気環境

光化学オキシダントが昨年度より微増した一方で、二酸化窒素と浮遊粒子状物質は減少しました。二酸化硫黄は横ばいとなっています。

市が保有していた古瀬戸町の大気汚染測定所は平成22年度末に廃止され、現在は県が陶原町の大気汚染測定所で常時監視を行っています。

また、環境基準の達成項目は4つのうち3つとなっており、現状維持に留まりました。



※「二酸化硫黄」「浮遊粒子状物質」は日平均値の2%除外値、「二酸化窒素」は日平均値の年間98%値、「光化学オキシダント」は昼間の年平均値を掲載しました。平成23年度以降「二酸化硫黄」は最寄の県測定局（尾張旭市）の測定結果を参考値として掲出しています。

■大気汚染調査結果

項目	二酸化硫黄	二酸化窒素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質
測定値	日平均値の最高値： 0.002ppm 1時間値の最高値： 0.008ppm	日平均値の最高値： 0.029ppm	1時間値の最高値： 0.124ppm	日平均値の最高値： 0.054mg/m ³ 1時間値の最高値： 0.079mg/m ³
評価 (環境基準)	○ 日平均値が0.1ppm以下 1時間値が0.04ppm以下	○ 日平均値が0.04~0.06ppm 又はそれ以下	× 1時間値が0.06ppm以下	○ 日平均値が0.1mg/m ³ 以下 1時間値が0.2mg/m ³ 以下

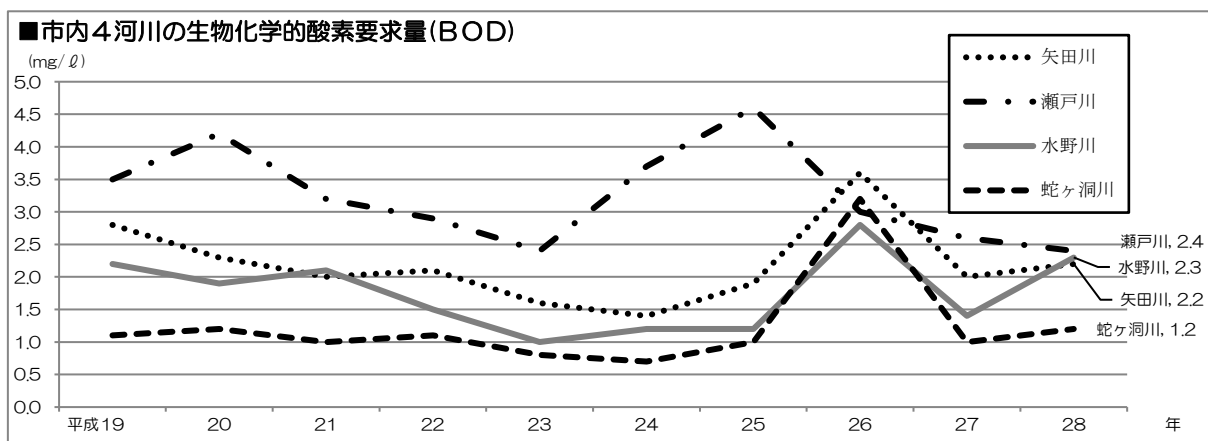
資料：環境課※（p.41）

※平成23年度以降「二酸化硫黄」は最寄の県測定局（尾張旭市）の測定結果を参考値として掲出しています。

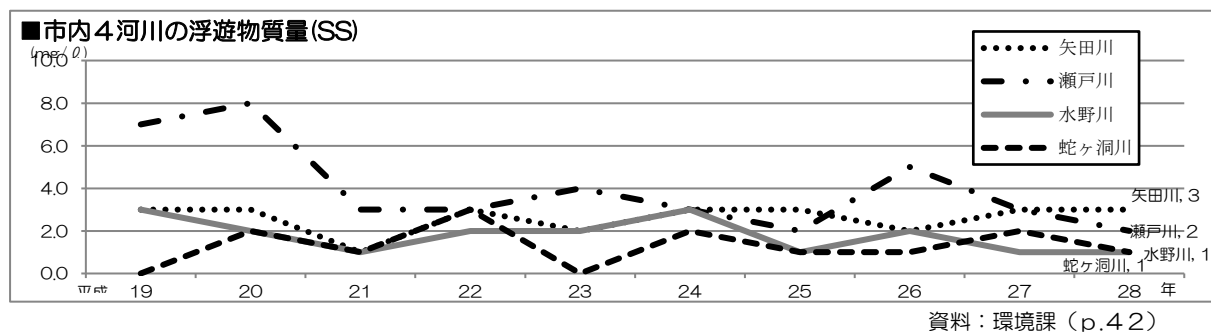
②河川の水質

市では、公共用水域の水質を定期的に調査しています。平成28年度は瀬戸川の生物化学的酸素要求量（BOD）が減少した一方でその他の3河川が増加しましたが、基準値の8 mg/ℓ以下は達成されています。

環境基本計画では河川ごとに環境基準に沿った目標を定めています。瀬戸川、矢田川、水野川は平成16年度以降毎年基準を達成できていますが、基準の厳しい蛇ヶ洞川は生物化学的酸素要求量（BOD）と大腸菌群数のみ基準を達成できていません。



資料：環境課（p.42）



資料：環境課（p.42）

■河川水質調査結果

測定場所	瀬戸川(三郷橋)	矢田川(本地大橋)	水野川(東谷東橋)	蛇ヶ洞川(蛇ヶ洞川橋)
測定値	水素イオン濃度	水素イオン濃度	水素イオン濃度	水素イオン濃度
	7.5	7.5	7.8	7.4
	生物化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量
	2.4mg/ℓ	2.2mg/ℓ	2.3mg/ℓ	1.2mg/ℓ
評価 (環境基準)	浮遊物質質量	浮遊物質質量	浮遊物質質量	浮遊物質質量
	2mg/ℓ	3mg/ℓ	1mg/ℓ	1mg/ℓ
	溶存酸素量	溶存酸素量	溶存酸素量	溶存酸素量
	10mg/ℓ	10mg/ℓ	11mg/ℓ	11mg/ℓ
評価 (環境基準)	大腸菌群数	大腸菌群数	大腸菌群数	大腸菌群数
	4,300MPN/100mℓ	4,300MPN/100mℓ	4,300MPN/100mℓ	4,300MPN/100mℓ
	○(D類型)	○(C類型)	○(C類型)	×(A類型)
	水素イオン濃度 6.0以上8.5以下 生物化学的酸素要求量 8mg/ℓ以下 浮遊物質質量 100mg/ℓ以下 溶存酸素量 2mg/ℓ以上	水素イオン濃度 6.5以上8.5以下 生物化学的酸素要求量 5mg/ℓ以下 浮遊物質質量 50mg/ℓ以下 溶存酸素量 5mg/ℓ以上	矢田川と同じ。	水素イオン濃度 6.5以上8.5以下 生物化学的酸素要求量 2mg/ℓ以下 浮遊物質質量 25mg/ℓ以下 溶存酸素量 7.5mg/ℓ以上 大腸菌群数 1,000MPN/100mℓ以下

資料：環境課（p.43～47）

③道路の騒音・振動

騒音規制法及び振動規制法に基づいて、市内の主要な国道を走行する自動車の騒音と振動を定期的に測定しています。

交通規制などを公安委員会へ要請することになる水準（要請限度）は全線達成できていますが、維持されることが望ましいとされる水準（環境基準）は達成できていないところがあります。

■道路交通騒音・振動調査結果

①西原町 国道 363 号(準住居地域) 平成 29 年 1 月 30 日～2 月 2 日測定					②山口町 国道 155 号(第一種住居地域) 平成 29 年 1 月 24 日～27 日測定				
区分	騒音		振動		区分	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間		昼間	夜間	昼間	夜間
測定値	69dB	66dB	34dB	28dB	測定値	69dB	65dB	46dB	39dB
評価 (要請限度)	○ 75dB	○ 70dB	○ 65dB	○ 60dB	評価 (要請限度)	○ 75dB	○ 70dB	○ 65dB	○ 60dB
評価 (環境基準)	○ 70dB	× 65dB	-	-	評価 (環境基準)	○ 70dB	○ 65dB	-	-

③西古瀬戸町 国道 248 号(準工業地域) 平成 29 年 2 月 6 日～9 日測定					④十軒町 国道 155 号(準住居地域) 平成 29 年 2 月 13 日～16 日測定				
区分	騒音		振動		区分	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間		昼間	夜間	昼間	夜間
測定値	72dB	68dB	47dB	45dB	測定値	72dB	66dB	43dB	30dB
評価 (要請限度)	○ 75dB	○ 70dB	○ 65dB	○ 60dB	評価 (要請限度)	○ 75dB	○ 70dB	○ 65dB	○ 60dB
評価 (環境基準)	× 70dB	× 65dB	-	-	評価 (環境基準)	× 70dB	× 65dB	-	-

資料：環境課（p.49、50）

また、騒音規制法に基づき自動車騒音の状況を常時監視しています。平成 24 年度に愛知県から権限委譲され、5 か年実施計画のもと平成 28 年度は愛・地球博記念公園瀬戸線で行い、全体で 80%以上環境基準を達成しました。

■自動車騒音常時監視結果

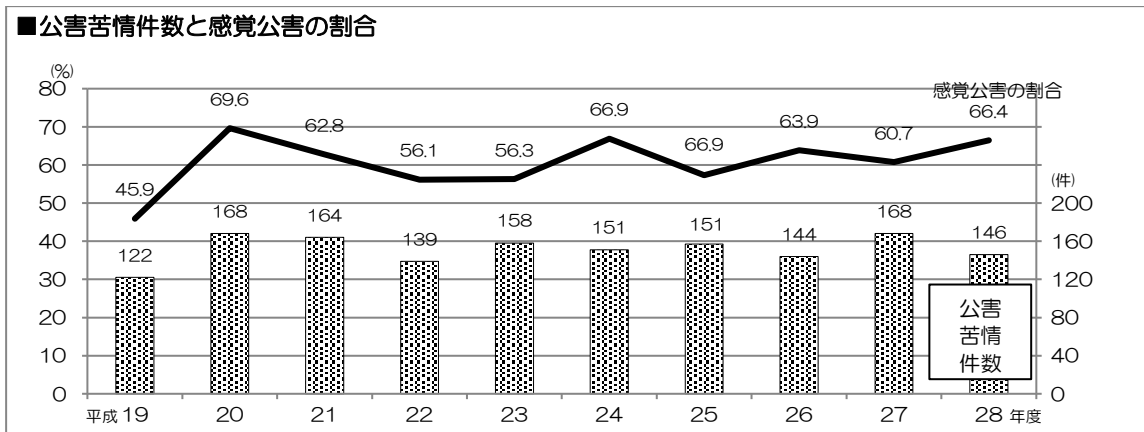
路線名	住居等総戸数	昼夜とも 基準値以下	昼のみ 基準値以下	夜のみ 基準値以下	昼夜とも 基準値超過
愛・地球博記念公園瀬戸線	面的評価結果（全体）				
	393戸	80.9%	0.0%	15.8%	3.3%
		(318戸)	(0戸)	(62戸)	(13戸)
	面的評価結果（近接空間）				
	135戸	56.3%	0.0%	43.7%	0.0%
		(76戸)	(0戸)	(59戸)	(0戸)
面的評価結果（非近接空間）					
258戸	93.8%	0.0%	1.2%	5.0%	
	(242戸)	(0戸)	(3戸)	(13戸)	

資料：環境課（p.51）

④公害苦情処理

全体的に増加傾向にあった公害苦情の申立件数は、平成 28 年度は昨年度に比べ減少しましたが依然として 100 件を超えています。

また、近年の特色として、公害苦情全体に対する感覚公害の割合*が半数以上を占めており、日常生活での周辺環境に対する快・不快への市民の関心が強くなっていることがうかがえます。

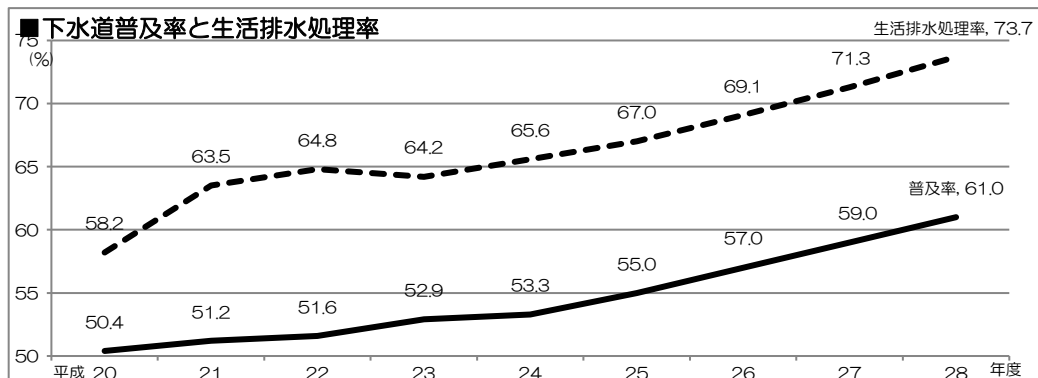


資料：環境課 (p.51)

※「感覚公害の割合」は、公害苦情の申立件数のうち、騒音、振動、悪臭に対する申立件数の割合を示します。

●下水道が整備された割合

昭和41年から始まった公共下水道の整備事業は継続して進められており、普及率、生活排水処理率*共に上昇しています。現在市民の約半数が下水道を利用しています。また、合併処理浄化槽を設置する世帯が増加しています。水洗化などにより生活排水の処理が進むことは、汚水の悪臭発生を抑えるだけでなく河川の水質改善にもつながります。

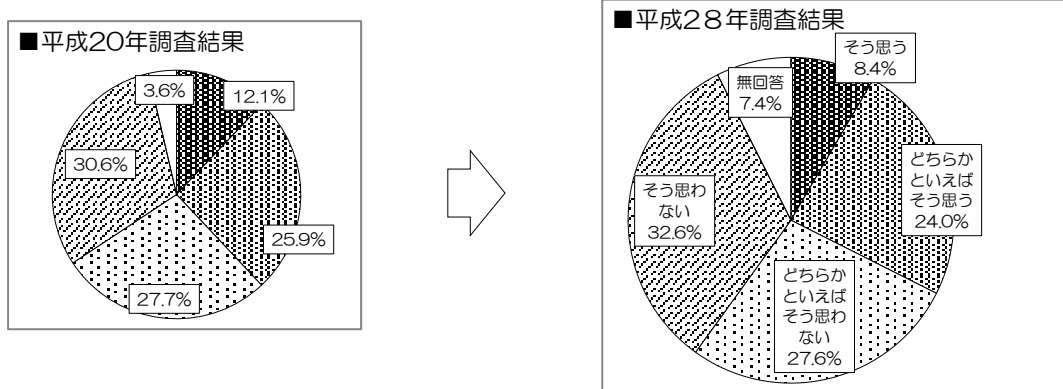


資料：下水道課 (p.51)

※「生活排水処理率」は、し尿だけでなく、生活排水を公共下水道や合併処理浄化槽によって処理している人口の割合を示します。

●都市の交通に満足している市民の割合

市民へのアンケート調査では、「鉄道やバスなどを利用して、移動に不自由することなく日常生活を送ることができていると思いますか。」との問いに対する回答は次のようになっています。都市交通に対する満足度は減少傾向にあります。



資料：経営課 (p.51)

(2)

施策の展開状況

基本方針	施策の展開	展開状況
3-1 公害対策の推進	大気汚染・悪臭防止のための監視・指導	展開中
	水質汚濁・土壌汚染防止のための監視・指導体制の強化	展開中
3-2 都市基盤の整備・充実	都市型・生活型公害の未然防止の推進	展開中
	道路や上下水道の整備・充実	展開中
	コミュニティバスなどの公共交通の充実	展開中
	歩道の整備・充実とバリアフリー化の推進	展開中

●これまでの主な施策

- ・企業団地内立地企業との「瀬戸市環境の保全と創造に関する協定」の締結を推進した。(H24年度以降 新規締結 13件)
- ・新瀬戸駅南口ロータリーと北ロータリーのバリアフリー化が完了した。(H25.5)。
- ・「瀬戸市まちなか交通戦略 (H21.6)」に基づき、計画的な道路などの整備を実施した。

●今後の施策方針

- ・監視体制の強化や市民・事業者に対する意識啓発を図り、環境値の向上に努める。
- ・事業者に対し、環境保全協定の締結をより積極的に働きかけ、公害の未然防止を推進する。
- ・下水道や交通環境などの基盤整備について推進するとともに、道路や公共施設のバリアフリー化や公共交通網の充実に努め、市民の安全・安心な暮らしの環境づくりを図る。

第2次環境基本計画では、瀬戸市の歴史・文化に誇りのもてる、心豊かに暮らせる環境づくりを進めることを、「心豊かに暮らす」基本方針として掲げ、次のような施策に取り組むこととしています。

- 歴史・文化の保全
- 快適環境の充実

(1) 環境指標の現状

●指定・登録文化財の数

1000年以上のやきものの歴史を持つ瀬戸市では、やきものに関する文化財をはじめ、歴史的建造物や工芸品など70を超える文化財があります。

地域の文化財を後世に残していくために、引き続き文化財の指定を行っていきます。

■指定・登録文化財件数

種別	件数
国指定 建造物	2
国指定 工芸品	6
国指定 有形民俗	1
国指定 史跡	3
国登録 建造物	3
計	15

種別	件数
県指定 彫刻	2
県指定 工芸品	5
県指定 考古資料	1
県指定 工芸技術	1
県指定 有形民俗	1
計	10

種別	件数
市指定 建造物	10
市指定 絵画	1
市指定 彫刻	2
市指定 工芸品	9
市指定 典籍	2
市指定 歴史資料	6
市指定 古文書	4
市指定 工芸技術	7
市指定 有形民俗	2
市指定 無形民俗	2
市指定 史跡	3
市指定 名勝	2
市指定 天然記念物	2
計	52

資料：文化課（p.52、53）



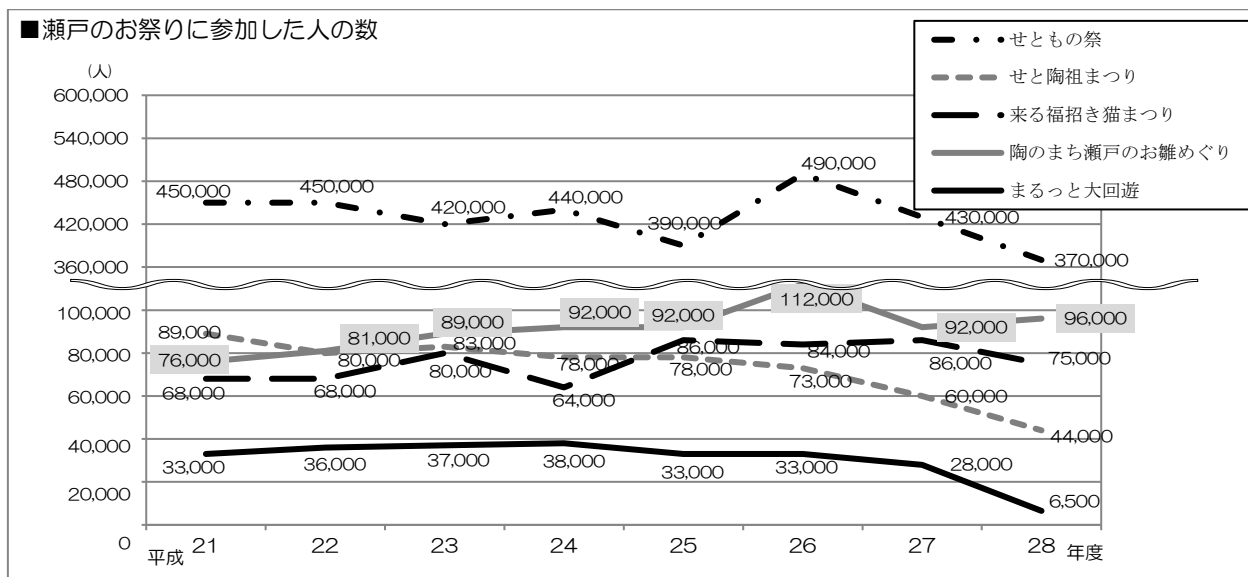
国指定史跡「志段味古墳群(尾張戸神社古墳)」 資料：文化課

●瀬戸のお祭りに参加した人の数

毎年40万人前後の人が訪れるせともの祭をはじめとして、市内では、年間を通じて様々なイベントが開かれています。

平成28年度は、5大祭りに参加した人の数が59万1500人となり、昨年度より減少しました。

なお、天候等の影響を受ける指標であるため人数の把握方法も含めて適切性に留意する必要があります。



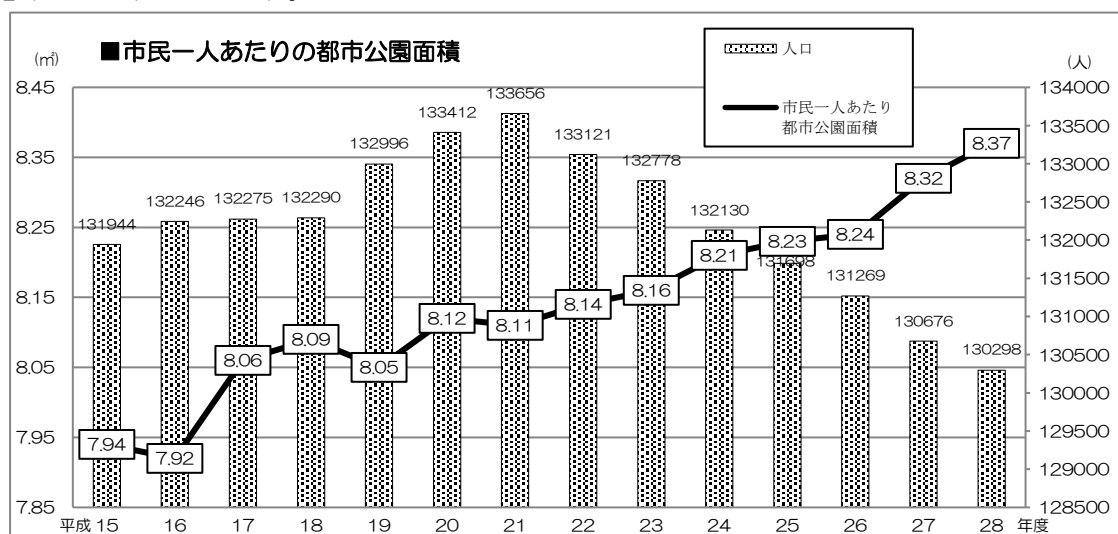
資料：まるっとミュージアム課（p.53）

●市民一人あたりの都市公園の面積

市内の都市公園の整備は継続して進められており、平成28年度は、市民一人あたりの都市公園面積が8.37平方メートルとなっています。

都市公園法が標準として定める市民一人あたりの都市公園面積は、10平方メートルとされているため、引き続き整備をすすめることが求められます。

なお、指標の取り扱いにあたっては、人口減少の影響を受けるため、現状把握の上で留意する必要があります。

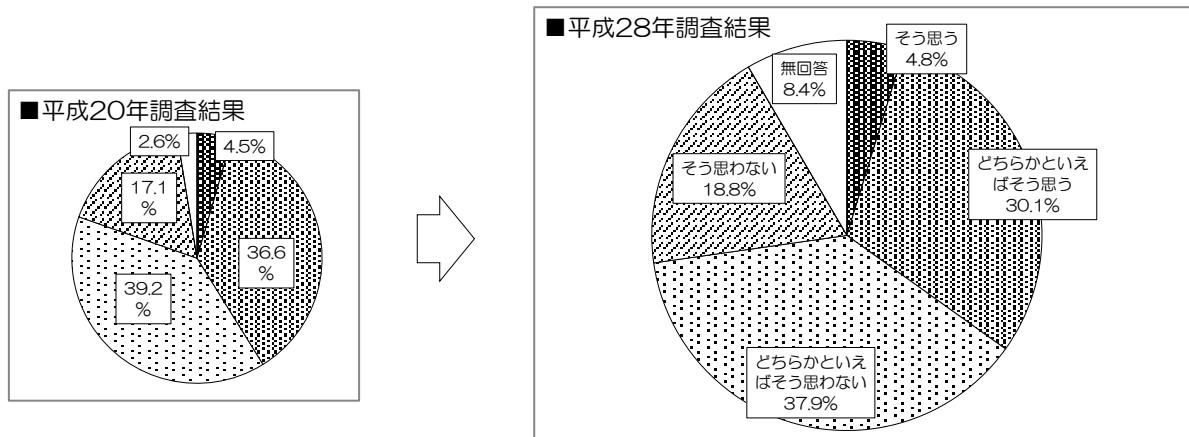


資料：維持管理課（p.53）

●住環境に満足している市民の割合

市民へのアンケート調査では、「秩序ある土地利用が進められ、災害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。」との問いに対する回答は次のようになっています。

暮らしの環境に満足している市民の割合は、平成28年の調査で34.9%となり、過年度結果と比較し減少しました。半数以上の市民が不満を持っている状況が過年度から継続しているため、引き続き市内の住環境の充実が望まれます。



資料：経営課（p.53）

(2)

施策の展開状況

基本方針	施策の展開	展開状況
4-1 歴史・文化の保全	文化財調査などによる歴史・文化の継承	展開中
	歴史・文化の魅力を活かした観光・交流の促進	展開中
4-2 快適環境の充実	やきもののまちとしての魅力発信の推進	展開中
	道路や住宅・事業所などの緑化の推進	展開中
	市民が身近な緑とふれあう場の整備	展開中
	歴史の残る街並みを演出する景観づくり	展開中
	まちの環境美化の推進	展開中

●これまでの主な施策

- ・「瀬戸市景観計画（H22.10）」に基づき、自然、歴史を活かした景観づくりを進めた。
- ・本業窯や窯垣の小径などの景観を残す洞地区（景観重点地区）において、重要な建造物10件を本市初となる景観重要建造物として指定した（H24年度）。
- ・「六角陶碑堂」のリニューアル、陶祖公園の整備（陶祖800年祭記念事業）を行った。
- ・公園整備など、身近な緑とふれあう場の整備を推進した。

●今後の施策方針

- ・本市が有する1000年以上のやきものの歴史、多くの文化財を後世に伝えるために、文化財指定など歴史・文化の保全を行うとともに、瀬戸の魅力向上に取り組む。
- ・新たな公園整備に加え、既存公園の適正な管理（樹木管理など）やまちの環境美化の取り組み推進により、快適環境の充実を図る。

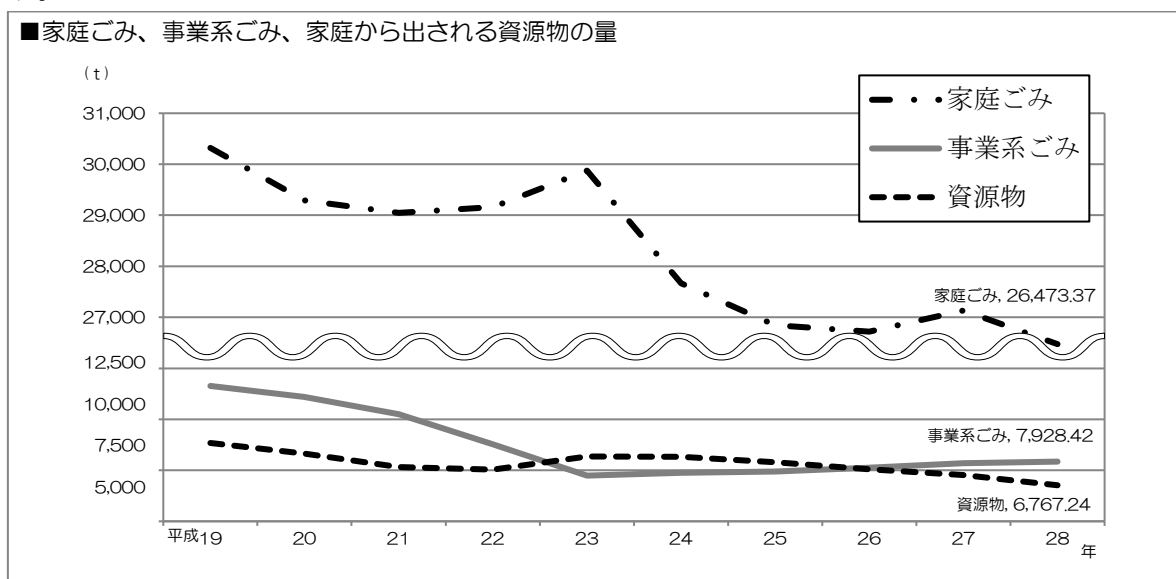
第2次環境基本計画では、脱温暖化社会、循環型社会の実現に向けて、市民の生活スタイル・事業スタイルの転換を促進し、地球にやさしい暮らしや事業の営みを支援することを、「地球にやさしく暮らす・営む」基本方針として掲げ、次のような施策に取り組むこととしています。

- 脱温暖化社会構築に向けた取り組み
- 循環型社会構築に向けた取り組み
- 環境産業の育成

(1) 環境指標の現状

●資源物を含む一般廃棄物の量

家庭ごみについては、平成23年度10月から開始した粗大ごみ処理の有料化に伴う駆け込み需要の影響で、平成23年度は一時的に増加しましたが、以降は減少傾向にあります。資源物と事業系ごみについては、平成23年度以降ほぼ横ばいで推移しています。

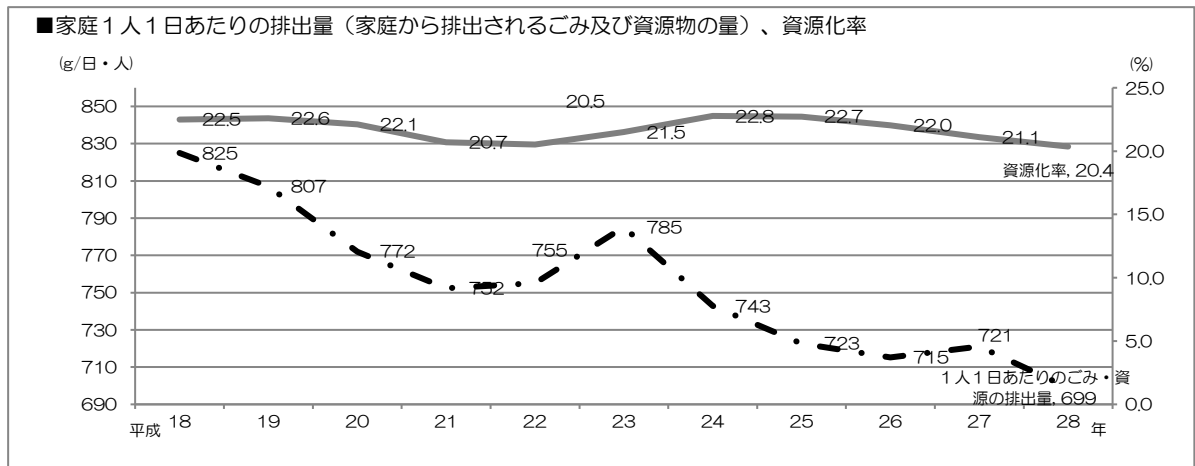


資料：環境課（p.53）

●ごみの減量と資源の循環

家庭からの1人1日あたりのごみ・資源物の排出量は平成23年度に一旦増加しましたが、平成24年度以降は減少傾向にあり、資源化率はほぼ横ばいで推移しています。

今後は、「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画」に従い、市民・事業者への情報提供や学校と連携した環境教育の実施などによる意識向上、生ごみの減量促進、雑がみ回収の強化、資源物回収拠点の増設などを推進し、排出量の抑制と資源化率を向上していきます。

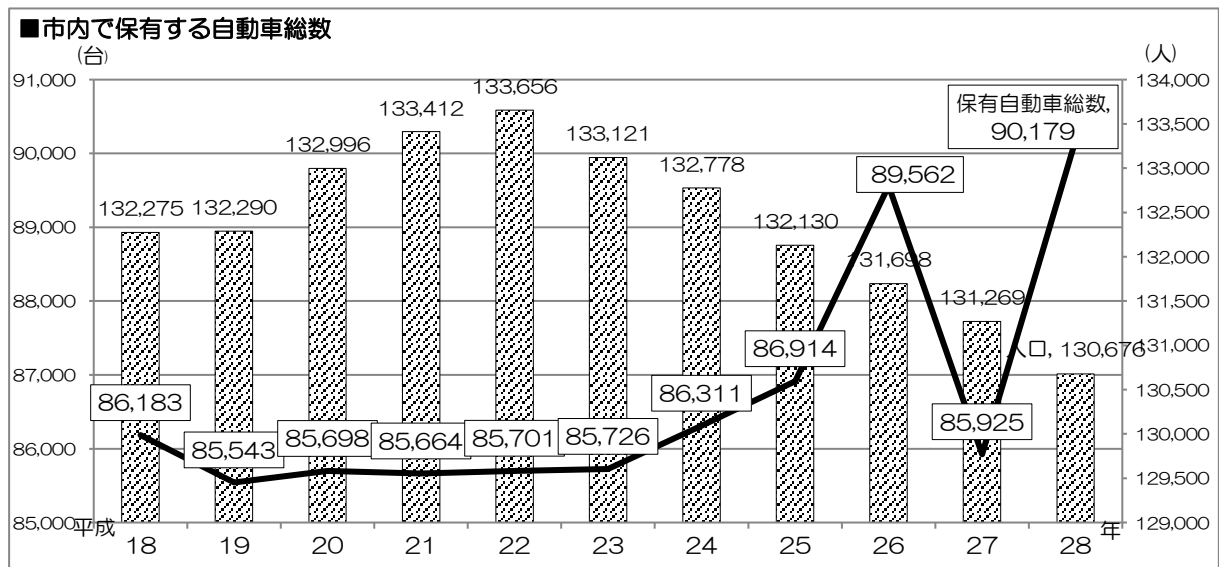


資料：環境課（p.53）

●自動車保有する台数

市内の自動車総数は平成19年度以降ほぼ横ばいで推移し、平成27年度を除いて平成23年度以降増加傾向にあります。平成28年度は特に大幅に増加しました。

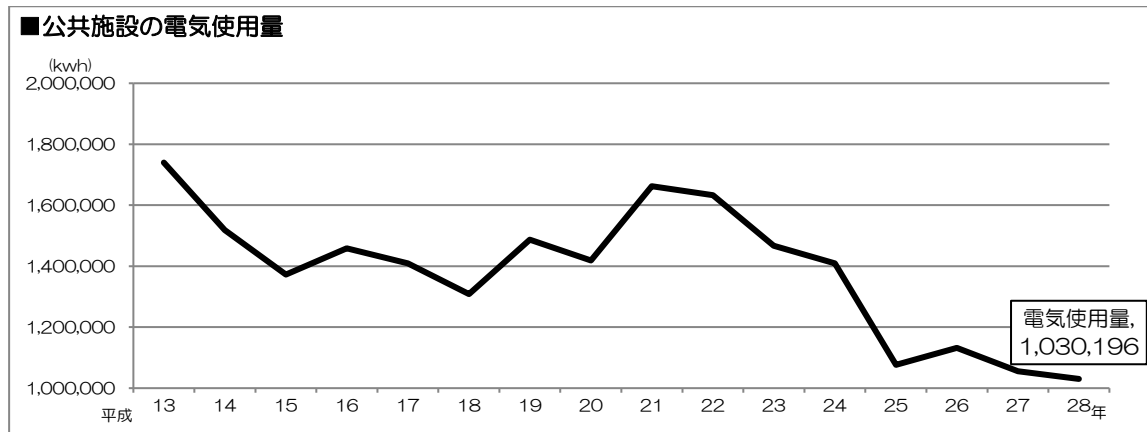
環境に優しいエコカーが増えていることも考慮し、自動車の種別も含めて適切な指標の把握方法を検討する必要があります。



資料：瀬戸市統計書（平成28年刊）（p.53）

●公共施設※での電気の使用量

平成25年6月に策定した「第2次エコオフィスプランせと」のもと、年間を通じ省エネルギーに取り組むとともに、平成24年度以降、電力需要が大きい夏季・冬季の対策指針として「夏季・冬季瀬戸市節電対策取組方針」を定め、全庁的に節電の推進を図ってきた結果、電気使用量は減少傾向にあります。



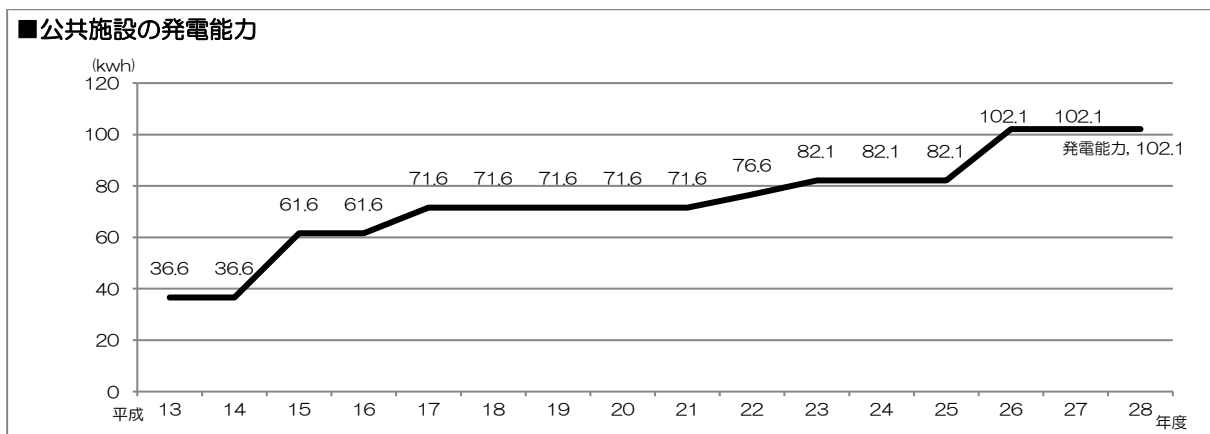
資料：環境課（p.53）

※公共施設=市役所本庁

●公共施設※での発電能力

平成26年度に市役所新庁舎が建設され、新たに太陽光発電システムを屋上に設置しました。

今後も公共施設における再生可能エネルギーである太陽光発電システムの導入を検討していきます。



環境課（p.54）

※
公共施設=太陽光発電システムが設置されている品野台小学校、新世紀工芸館、春雨墓苑、瀬戸染付工芸館、
祖母会公民館、デジタルリサーチパークセンター、瀬戸蔵、道の駅瀬戸しなの、品野台地域交流センター、瀬
戸市役所の10施設

(2)

施策の展開状況

基本方針	施策の展開	展開状況
5-1 脱温暖化社会構築に向けた取り組み	自動車から排出される温室効果ガスの軽減	展開中
	新エネルギーの活用促進	展開中
	水資源や自然資源などの計画的かつ有効な活用	展開中
	事業所としての“瀬戸市役所”における環境配慮の促進	展開中
5-2 循環型社会構築に向けた取り組み	公共施設や公共事業の省資源・リサイクルの推進	展開中
	家庭から出るごみの減量	展開中
	事業から出るごみの減量	展開中
5-3 環境産業の育成	産業廃棄物処理施設の監視・指導体制の整備	展開中
	不法投棄などの環境犯罪の抑止	展開中
	地産地消の促進や環境にやさしい産業構造の構築	展開中
	産学官の連携による環境産業の育成	展開不十分

●これまでの主な施策

- ・瀬戸市役所において、「夏季・冬季瀬戸市節電対策取組方針（H24～各年度）」や「第2次エコオフィスプランせと（H25.6）」を策定し、電気使用量の削減や太陽光発電システムの導入に取り組んだ。
- ・市民・事業者との協働による「瀬戸市ごみ減量推進会議」を設立（H24.4）し、「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画（H26.3）」に沿ったごみの減量や資源化を推進するとともに、ごみ減量に関する啓発として、「広報せと」への関連記事掲載や、出前講座の開催を積極的に行った。
- ・不法投棄の防止のため、職員による監視パトロールの実施、一般財団法人家電製品協会の助成金を活用した不法投棄防止監視カメラ及び啓発看板の設置を行った。
- ・道の駅「瀬戸しなの」において、食品残渣を堆肥化し農家へ無償配布する資源循環の取り組みや地元農作物の販売・瀬戸豚メニューの提供などによる地産地消の取り組みを行った。

●今後の方針

- ・電力使用量の削減や再生可能エネルギーの利用について、公共施設での取り組みを進めるとともに、市民への意識啓発や支援を行う。
- ・ごみの減量や資源化については、「瀬戸市ごみ減量推進会議」での協議を進めながら各種取り組みを行っていく。
- ・道の駅「瀬戸しなの」を拠点に地産地消の促進や資源の循環を活かした事業活動を推進していく。
- ・地域大学との連携強化や「せと・しごと塾」との積極的な情報共有、「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」の活動推進により環境産業の育成支援を図っていく。

第2次環境基本計画では、将来にわたって自然と共生し、より良い環境をつくり続けていくための人や地域を育む環境づくりを進めることを、「人と地域を育む」基本方針として掲げ、次のような施策に取り組むこととしています。

- 持続可能な社会を担う人づくり
- 持続可能な社会を担う地域づくり

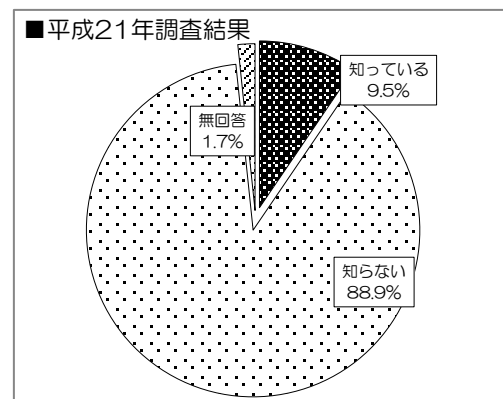
(1) 環境指標の現状

●環境基本条例や環境基本計画を知っている市民の割合

第2次環境基本計画の策定の際に行った市民アンケート調査では、環境基本計画を知っていると答えた市民は約1割でした。

なお、平成23年度及び26年度に実施された市民アンケートでは、設問にあがらなかったため現状把握ができなくなっています。

次回の市民アンケートに盛り込むなど目標年次に向け把握方法を検討する必要があります。



資料：環境課（p.54）

(2) 施策の展開状況

項目	施策の展開	展開状況
6-1 持続可能な社会を担う人づくり	環境に関する情報の共有	展開不十分
	産学官の協働による環境教育の推進	展開中
6-2 持続可能な社会を担う地域づくり	すべての世代に対する効果的な環境教育の展開	展開不十分
	パートナーシップ型組織の設立・活動の推進	展開中
	地域の自発的な取り組みを支援する体制づくり	展開不十分

●これまでの主な施策

- ・「東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所と瀬戸市との間における地域交流に関する協定書」を締結した。（H23. 11. 10）
- ・「せと環境塾」の事業推進組織として、市民・事業者などで構成する「せと環境塾運営委員会」を設置（H24. 10）し、環境講座を開催した。
- ・市民によるパートナーシップ型組織「せと・まるっと環境クラブ」を設立（H24. 3）し、環境活動（自然観察会やカタクリ群生地草刈りなど）を実施した。
- ・市民・事業者などで構成する「瀬戸市ごみ減量推進会議」を設置（H24. 4）し、ごみの減量・

資源化に取り組んだ。

- ・「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」による継続的な環境活動（蛇ヶ洞川清掃活動、「省エネ講演会&環境取組発表会」など）を実施した。

●今後の方針

- ・「せと・まるっと環境クラブ」、「瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議」など個々の活動を継続、推進するとともに、市内で活動する他の市民団体なども含めた多様な主体間の連携を図っていく。
- ・「せと環境塾」については、市主体の講座開催を継続的かつ効果的に行うとともに、市全体として環境教育を推進する体制づくりを検討し見直しを進める。
- ・環境に関わる様々な情報の共有や各主体による環境への取り組みを広く市民などに発信する仕組みづくりについて検討を進める。

卷 末 資 料



●市の大きさ・人口等

○市の大きさ

東西	12.8 k m
南北	13.6 k m
面積	111.40 k m ²

【都市計画課】

○市の人口

区分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総人口	人	132,275	132,290	132,996	133,412	133,656	133,121	132,778	132,130	131,698	131,269	130,676
世帯数	世帯	50,477	51,104	51,973	52,652	53,055	53,253	53,518	53,220	53,546	53,928	54,388

※各年度とも、4月1日現在で集計。【市民課】

●森林の総面積

○所有形態別森林面積

種別	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
国有林	h a	751	751	751	737	737	737	737	742	742	742	742
公有林	h a	1,670	1,670	1,670	1,669	1,668	1,668	1,667	1,665	1,665	1,665	1,667
私有林	h a	3,938	3,931	3,927	3,919	3,915	3,902	3,899	3,897	3,896	3,893	3,891
地域森林計画対象外森林	h a	32	32	32	33	32	32	32	32	32	32	32
合計	h a	6,391	6,384	6,380	6,358	6,352	6,339	6,335	6,336	6,335	6,332	6,332

※27年度が最新データである。【瀬戸市統計書（平成29年刊）】

●保護された森林の面積

○自然公園等（種類別）面積

水質観測点		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
国定公園 (自然公園)	特別地域（特別保護地区）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別地域（第1～3種）	h a	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899	1,899
	普通地域	h a	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498	498
県立自然公園	特別地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	普通地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自然環境保全地域*	h a	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	

※「自然環境保全地域」は、愛知県自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例に基づく。【環境課】

●自然との親しみを感している市民の割合

○総合計画市民アンケート調査結果

設問		自然観察、エコツアーなどに参加することにより自然環境に親しんでいますか。						
項目	単位	行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計	
20年度	回答数	人	79	196	303	422	18	1018
	構成比	%	7.8	19.3	29.8	41.5	1.8	100.0
23年度	回答数	人	71	167	328	438	25	1,029
	構成比	%	6.9	16.2	31.9	42.6	2.4	100.0
26年度	回答数	人	40	130	268	482	9	929
	構成比	%	4.3	14.0	28.8	51.9	1.0	100.0

※構成比は、小数第二位の数を四捨五入している。
回答項目について、平成23年調査までは意識調査だったが、平成26年では実践度合い調査に変更している。【経営課】

●農地の総面積

○経営耕地面積

単位	12年度	17年度	22年度	27年度
h a	238.6	192.9	181.9	169.1

※27年度が最新データである。
【瀬戸市統計書（平成29年刊）】

●自然観光資源の利用状況

○観光レクリエーション(自然)利用者数

区分	単位	22年	23年	24年	25年	26年	27年度	28年度
岩屋堂鳥原溪谷	人	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	153,000
岩屋堂バンガロー村	人	2,827	2,434	2,633	2,498	2,084	2,337	2,971
岩屋堂プール	人	26,414	23,474	閉鎖	閉鎖	閉鎖	閉鎖	閉鎖
定光寺公園	人	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	60,000
定光寺(野営場)	人	4,079	3,560	3,733	3,540	3,115	3,578	-
定光寺(フィールドアーチェリー場)	人	1,070	872	877	1,059	981	1,119	653
定光寺森林交流館	人	9,013	8,788	8,618	7,089	5,727	4,085	4,049
海上の森センター	人	24,139	20,583	19,500	19,987	17,944	16,906	18,267

【瀬戸市統計書（平成29年刊）】

●大気環境

①主な大気汚染物質の測定結果

項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
瀬戸市 大気汚 染測定 所	二酸化硫黄	ppm	0.008	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	二酸化窒素	ppm	0.022	0.022	0.019	0.022	0.026	0.026	0.027	0.025	0.024
	光化学オキシダント	ppm	0.050	0.029	0.031	0.029	0.030	0.032	0.032	0.034	0.034
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.045	0.038	0.042	0.038	0.046	0.052	0.049	0.049	0.042

※「二酸化硫黄」「浮遊粒子状物質」は日平均値の2%除外値、「二酸化窒素」は日平均値の年間98%値、「光化学オキシダント」は昼間の年平均値を掲載した。
平成23年度以降「二酸化硫黄」は最寄の県測定局（尾張旭市）の測定結果を参考値として掲出。

【環境課】

②二酸化硫黄測定結果（月間値）

項目	単位	平成28年										平成29年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
有効測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	25	31	31	28	31	
測定時間	時間	710	737	713	738	736	712	729	604	738	737	666	737	
月平均値	ppm	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0	0	0	0.001	
1時間が0.1ppmを超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1時間値の最高値	ppm	0.008	0.006	0.005	0.007	0.005	0.008	0.008	0.005	0.003	0.004	0.004	0.007	
日平均値の最高値	ppm	0.002	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	

【環境課】

③二酸化窒素測定結果（月間値）

項目	単位	平成28年										平成29年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
有効測定日数	日	30	31	30	31	28	30	31	30	31	31	28	31	
測定時間	時間	711	737	714	738	695	714	730	714	738	737	666	738	
月平均値	ppm	0.01	0.008	0.008	0.008	0.007	0.009	0.01	0.012	0.014	0.013	0.012	0.011	
1時間値の最高値	ppm	0.04	0.035	0.024	0.028	0.018	0.034	0.037	0.039	0.046	0.045	0.043	0.037	
日平均値の最高値	ppm	0.022	0.014	0.015	0.014	0.01	0.015	0.018	0.021	0.025	0.028	0.029	0.019	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.06ppmを超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値の年間98%値	ppm	0.022												

【環境課】

④光化学オキシダント測定結果（月間値）

項目	単位	平成28年										平成29年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
昼間測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
昼間測定時間	時間	447	463	448	463	462	448	459	448	448	463	417	463	
昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	13	23	16	18	19	9	4	0	0	0	0	4	
	時間	62	163	78	88	83	39	7	0	0	0	0	32	
昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数	日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	時間	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
昼間の1時間値の最高値	ppm	0.079	0.1	0.105	0.101	0.124	0.089	0.066	0.053	0.047	0.041	0.054	0.079	
昼間の1時間値の最高値の平均値	ppm	0.058	0.07	0.061	0.065	0.069	0.048	0.044	0.035	0.032	0.037	0.039	0.052	

【環境課】

⑤浮遊粒子状物質測定結果（月間値）

項目	単位	平成28年										平成29年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
有効測定日数	日	30	27	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
測定時間	時間	718	669	718	741	742	719	740	718	743	743	670	743	
月平均値	mg/m ³	0.021	0.023	0.018	0.026	0.026	0.02	0.014	0.012	0.008	0.008	0.006	0.011	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1時間値の最高値	mg/m ³	0.079	0.078	0.05	0.073	0.065	0.053	0.056	0.051	0.047	0.046	0.036	0.049	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.045	0.054	0.03	0.041	0.039	0.034	0.035	0.026	0.023	0.021	0.022	0.031	

【環境課】

●河川の水質

①主な水質の調査結果（項目別）

・生物化学的酸素要求量（BOD）

水質観測点		単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平均
矢田川（菱野橋） H10～本地大橋	75%値	mg/l	2.8	2.3	2.0	2.1	1.6	1.4	1.9	3.6	2.0	2.2	2.2
	最大値	mg/l	4.5	3.5	2.3	2.8	2.0	1.4	2.8	4.0	3.2	2.7	2.9
	最小値	mg/l	2.1	1.8	1.7	1.8	1.0	1.0	1.2	<0.5	0.9	1.3	1.3
瀬戸川（共栄橋） H10～三郷橋	75%値	mg/l	3.5	4.2	3.2	2.9	2.4	3.7	4.6	3.0	2.6	2.4	3.3
	最大値	mg/l	6.8	4.5	6.8	7.4	8.7	8.8	5.8	3.9	3.2	5.3	6.1
	最小値	mg/l	2.5	3.6	2.0	0.8	1.2	1.3	1.7	1.0	0.8	1.3	1.6
水野川（荇坪橋） H10御用橋 H11～東谷東橋	75%値	mg/l	2.2	1.9	2.1	1.5	1.0	1.2	1.2	2.8	1.4	2.3	1.8
	最大値	mg/l	2.6	2.4	2.7	2.2	2.0	2.0	1.2	2.9	1.8	2.9	2.3
	最小値	mg/l	2.1	1.8	1.1	1.0	0.6	0.8	0.8	0.8	0.7	1.3	1.1
蛇ヶ洞川（蛇ヶ洞川橋）	75%値	mg/l	1.1	1.2	1.0	1.1	0.8	0.7	1.0	3.2	1.0	1.2	1.2
	最大値	mg/l	1.5	1.2	1.2	1.6	1.1	1.5	1.1	3.6	1.3	1.5	1.6
	最小値	mg/l	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	<0.5	<0.5	0.6	0.6	1.0	0.7

・化学的酸素要求量（COD）

水質観測点		単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平均
矢田川（菱野橋） H10～本地大橋	平均値	mg/l	3.9	3.0	2.4	2.9	1.9	2.5	2.3	1.9	2.0	2.8	2.6
	最大値	mg/l	4.5	4.7	2.9	3.3	2.1	2.6	2.9	2.2	2.9	4.4	3.3
	最小値	mg/l	2.7	2.3	1.7	2.2	1.7	2.2	1.6	1.4	1.4	1.8	1.9
瀬戸川（共栄橋） H10～三郷橋	平均値	mg/l	5.8	5.2	4.5	4.7	3.3	4.1	4.2	3.3	2.9	3.7	4.2
	最大値	mg/l	7.9	6.7	6.8	9.0	4.9	5.1	5.2	4.3	4.2	6.8	6.1
	最小値	mg/l	4.6	4.6	2.8	2.2	2.4	2.6	3.0	2.5	2.0	2.6	2.9
水野川（荇坪橋） H10御用橋 H11～東谷東橋	平均値	mg/l	3.6	2.9	2.5	2.6	2.1	2.3	2.0	2.2	2.4	3.1	2.6
	最大値	mg/l	4.3	3.1	2.9	3.3	2.7	3.0	3.0	2.9	3.0	4.6	3.3
	最小値	mg/l	2.9	2.5	2.1	2.6	1.5	1.8	1.4	1.8	1.6	1.6	2.0
蛇ヶ洞川（蛇ヶ洞川橋）	平均値	mg/l	1.7	1.3	1.4	2.0	1.6	1.7	1.3	1.7	1.7	2.0	1.6
	最大値	mg/l	2.0	1.5	1.7	3.4	2.9	2.7	1.9	2.5	2.3	2.7	2.4
	最小値	mg/l	1.4	0.9	0.9	1.2	1.0	1.1	0.6	1.0	1.3	0.8	1.0

・浮遊物質量（SS）

水質観測点		単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平均
矢田川（菱野橋） H10～本地大橋	平均値	mg/l	3	3	1	3	2	3	3	2	3	3	3
	最大値	mg/l	7	5	2	6	4	4	6	2	8	4	5
	最小値	mg/l	<1	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2	1
瀬戸川（共栄橋） H10～三郷橋	平均値	mg/l	7	8	3	3	4	3	2	5	3	2	4
	最大値	mg/l	10	12	4	5	6	6	4	7	6	2	6
	最小値	mg/l	4	5	<1	<1	<1	1	<1	<1	1	<1	2
水野川（荇坪橋） H10御用橋 H11～東谷東橋	平均値	mg/l	3	2	1	2	2	3	<1	2	1	1	2
	最大値	mg/l	7	3	1	2	4	5	<1	3	2	3	3
	最小値	mg/l	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
蛇ヶ洞川（蛇ヶ洞川橋）	平均値	mg/l	<1	2	1	3	<1	2	<1	1	2	1	2
	最大値	mg/l	<1	2	1	5	<1	3	<1	1	2	1	2
	最小値	mg/l	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1

・全窒素

水質観測点		単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平均
矢田川(菱野橋) H10～本地大橋	平均値	mg/l	2.1	2.1	1.8	2.5	2.4	2.1	2.3	1.7	1.4	1.7	2.0
	最大値	mg/l	3.8	2.6	2.9	3.9	3.0	2.7	2.8	2.2	1.6	2.2	2.8
	最小値	mg/l	1.4	1.6	1.1	1.7	1.8	1.4	1.7	1.2	1.2	1.3	1.4
瀬戸川(共栄橋) H10～三郷橋	平均値	mg/l	4.9	4.8	4.8	5.6	4.9	4.6	4.4	3.2	3.2	3.8	4.4
	最大値	mg/l	5.6	6.3	9.3	11	8.2	8.0	5.1	4.2	4.5	5.4	6.8
	最小値	mg/l	3.9	3.4	2.4	2.6	3.4	2.2	3.4	1.7	2.0	2.9	2.8
水野川(荇坪橋) H10御用橋 H11～東谷東橋	平均値	mg/l	2.7	3.1	2.0	2.4	2.5	2.0	4.9	1.6	1.6	1.6	2.4
	最大値	mg/l	4.1	4.7	3.1	3.6	3.3	2.4	14	2.0	2.4	2.1	4.2
	最小値	mg/l	1.7	1.7	0.98	1.4	1.5	1.6	1.5	1.3	1.0	1.1	1.4
蛇ヶ洞川(蛇ヶ洞川橋)	平均値	mg/l	0.70	0.66	0.69	0.84	0.90	0.82	0.55	0.57	0.33	0.52	0.70
	最大値	mg/l	0.99	0.85	1.20	1.40	1.20	0.93	0.71	0.71	0.46	1.0	0.90
	最小値	mg/l	0.47	0.52	0.43	0.54	0.49	0.63	0.44	0.49	0.15	0.34	0.50

・全リン

水質観測点		単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平均
矢田川(菱野橋) H10～本地大橋	平均値	mg/l	0.18	0.15	0.11	0.14	0.11	0.14	0.14	0.11	0.12	0.11	0.13
	最大値	mg/l	0.23	0.15	0.15	0.16	0.13	0.18	0.18	0.14	0.15	0.15	0.16
	最小値	mg/l	0.12	0.15	0.077	0.13	0.09	0.10	0.08	0.076	0.07	0.059	0.10
瀬戸川(共栄橋) H10～三郷橋	平均値	mg/l	0.52	0.57	0.44	0.47	0.34	0.46	0.50	0.35	0.30	0.34	0.43
	最大値	mg/l	0.61	0.85	0.74	0.94	0.52	0.63	0.62	0.54	0.38	0.62	0.65
	最小値	mg/l	0.42	0.38	0.27	0.22	0.24	0.28	0.30	0.21	0.17	0.21	0.27
水野川(荇坪橋) H10御用橋 H11～東谷東橋	平均値	mg/l	0.20	0.16	0.17	0.16	0.15	0.19	0.16	0.15	0.16	0.15	0.17
	最大値	mg/l	0.22	0.18	0.24	0.18	0.18	0.29	0.27	0.23	0.19	0.23	0.22
	最小値	mg/l	0.17	0.14	0.12	0.14	0.13	0.11	0.12	0.099	0.11	0.042	0.12
蛇ヶ洞川(蛇ヶ洞川橋)	平均値	mg/l	0.022	0.021	0.015	0.025	0.029	0.031	0.020	0.020	0.024	0.020	0.02
	最大値	mg/l	0.031	0.037	0.022	0.032	0.040	0.051	0.031	0.031	0.038	0.042	0.04
	最小値	mg/l	0.008	0.009	0.008	0.018	0.016	0.020	0.007	0.004	0.017	<0.001	0.01

※「<1」等の記載は、値が1未満であることを示す。【環境課】

②河川水質(一般項目・生活環境項目)の調査結果(調査地点別)

水域区分・河川名		庄内川等水域 1.矢田川(下流域)※通称山口川				
調査地点		本地大橋(西原町2丁目地内)				
採水日時等	採取日	H28.6.17	H28.10.7	H28.12.8	H29.2.10	平均
	採取時刻	10:10	16:40	15:29	10:44	
天候	晴	晴	晴	晴		
気温(°C)	25.7	25.1	11.0	6.1	17.0	
水温(°C)	23.6	22.7	11.8	8.1	16.6	
一般項目	透視度(cm)	>50	>50	>50	20	>50
	臭気	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	流量(m ³ /min)	-	141.71	-	19.70	80.71
生活環境項目	外観	淡黄色透	淡黄色透	無色透明	淡黄褐色濁	-
	pH	7.5	7.5	7.5	7.6	7.5
	DO(mg/l)	8.6	8.4	11	13	10
	BOD(mg/l)	2.0	1.3	2.2	2.7	2.1
	COD(mg/l)	2.8	2.1	1.8	4.4	2.8
	SS(mg/l)	2	2	2	4	3
	大腸菌数(MPN/100ml)	-	-	-	4.5×10 ³	4.5×10 ³
その他の項目	全窒素(mg/l)	1.3	1.6	1.7	2.2	1.7
	全リン(mg/l)	0.15	0.059	0.11	0.14	0.11
健康項目	電気伝導率(mS/m)	18	14	19	21	18
	塩化物イオン(mg/l)	16	11	19	24	18
健康項目	鉛(mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

水域区分・河川名		庄内川等水域 2.矢田川(上流)※通称山口川				
調査地点		屋戸橋(屋戸町地内)				
採水日時等	採取日	H28.6.17	H28.10.7	H28.12.8	H29.2.10	平均
	採取時刻	10:52	15:05	14:49	13:45	
天候	晴	晴	晴	晴		
気温(°C)	24.6	27.0	11.2	7.0	17.5	
水温(°C)	21.9	20.4	9.2	7.2	14.7	
一般項目	透視度(cm)	>50	>50	>50	>50	>50
	臭気	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	流量(m ³ /min)	-	88.10	-	13.48	50.79
生活環境項目	外観	淡黄色透	淡黄色透	淡黄色透	淡黄色透	-
	pH	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7
	DO(mg/l)	8.7	9.2	11	12	10
	BOD(mg/l)	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3
	COD(mg/l)	2.1	2.2	1.2	3.4	2.2
	SS(mg/l)	2	2	3	<1	2
	大腸菌数(MPN/100ml)	-	-	-	1.4×10 ³	1.4×10 ³
その他の項目	全窒素(mg/l)	0.88	1.1	0.92	1.0	0.98
	全リン(mg/l)	0.050	0.024	0.015	0.058	0.037
健康項目	電気伝導率(mS/m)	16	14	20	20	18
	塩化物イオン(mg/l)	14	14	24	26	20
健康項目	鉛(mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

水域区分・河川名		庄内川等水域瀬戸川一次支川 47.古瀬戸川					
調査地点		瀬戸川合流点前(西古瀬戸町地内)					
採水日時等	採取日	H28.6.17	H28.10.4	H28.12.8	H29.2.13	平均	
	採取時刻	14:56	13:58	13:50	13:52		
	天候	曇	晴	晴	晴		
	気温(℃)	27.1	27.8	11.6	7.6		18.5
	水温(℃)	23.6	24.4	10.0	7.1		16.3
一般項目	透視度(cm)	>50	>50	>50	>50	>50	
	臭気	無臭	無臭	無臭	無臭	-	
	流量(m ³ /min)	-	9.31	-	2.87	6.09	
	外観	淡黄色透	淡黄褐色透	淡黄色透	無色透明	-	
	pH	7.2	7.0	7.2	7.2	7.2	
生活環境項目	DO(mg/l)	8.3	7.9	11	13	10	
	BOD(mg/l)	1.6	1.1	1.5	1.1	1.3	
	COD(mg/l)	1.6	4.2	2.0	5.2	3.3	
	SS(mg/l)	1	4	<1	5	3	
	大腸菌群数(MPN/100ml)	-	-	-	4.5	4.5	
	全窒素(mg/l)	0.80	0.58	0.30	0.13	0.45	
	全リン(mg/l)	0.13	0.020	0.026	0.024	0.050	
その他の項目	電気伝導率(mS/m)	8.7	5.2	5.8	6.3	6.5	
	塩化物イオン(mg/l)	15	5.1	7.7	12	10	
健康項目	鉛(mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	

※「BOD」の「平均」は、75%値を掲載した。また、「<0.005」等の記載は、値が0.005未満であることを示す。【環境課】

③河川水質(健康項目)の調査結果

分析項目	単位	環境基準等	調査地点												定量下限値
			主要河川						小河川						
			矢田川 下流端	矢田川 屋戸橋	水野川 東谷東橋	蛇ヶ洞川 下流端	瀬戸川 上流端	瀬戸川 下流端	雁又川 市境界	本地川 下流端	山路川 下流端	数成川 H29.2.14	余床川 下流端	七曲川 下流端	
採水年月日			H29.2.10	H29.2.10	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.13	H29.2.13	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14		
カドミウム	mg/ℓ	0.003mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003
全シアン	mg/ℓ	検出されないこと	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
鉛	mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005
六価クロム	mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
砒素	mg/ℓ	0.01mg/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005
総水銀	mg/ℓ	0.0005mg/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
アルキル水銀	mg/ℓ	検出されないこと	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
PCB	mg/ℓ	検出されないこと	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0002
ジクロロメタン	mg/ℓ	0.02mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
四塩化炭素	mg/ℓ	0.002mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	0.004mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0004
1,1-ジクロロエタン	mg/ℓ	0.02mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
1,1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	0.04mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	1mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	0.006mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006
トリクロロエチレン	mg/ℓ	0.03mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
1,2-ジクロロブレン	mg/ℓ	0.002mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0002
チウラム	mg/ℓ	0.006mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006
シマジン	mg/ℓ	0.003mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003
チオベンカルブ	mg/ℓ	0.02mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
ベンゼン	mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001
セレン	mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
銅・鉛・亜鉛・セレン	mg/ℓ	10mg/ℓ以下	1.1	0.6	1.3	0.6	0.6	2.3	5.0	2.4	<0.4	2.4	7.8	0.6	0.4
ふっ素	mg/ℓ	0.8mg/ℓ以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1
ほう素	mg/ℓ	1mg/ℓ以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1
1,4-ジオキサン	mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5μg/ℓ

※「ND」は定量下限値未満であることを、「<0.1」等の記載は値が0.1未満であることを、それぞれ示す。【環境課】

④その他の河川水質の調査結果

水域区分・河川名		矢田川水系									
調査地点		雁又川	本地川	南境川	井林川	大六川	米泉川	今林川	八幡川	吉田川	若宮川
採水日時等	採取日	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10
	採取時刻	10:02	9:34	10:23	11:30	16:29	12:45	13:00	13:15	15:57	13:30
	天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
	気温(℃)	5.0	6.2	8.0	4.7	4.8	8.0	4.2	6.7	4.6	5.9
	水温(℃)	8.1	8.1	5.2	7.9	6.5	12.1	7.1	9.8	5.3	11.3
一般項目	透視度(cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	48	>50	>50
	臭気	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	弱藻臭	無臭	弱藻臭
	流量(m ³ /min)	0.36	1.66	-	-	-	-	-	-	-	-
	外観	淡黄褐色透	淡黄色透色	淡黄褐色透	淡黄色透色	淡黄色透色	淡黄色透色	淡黄色透	淡黄緑色透	淡黄色透色	淡黄緑色透
	pH	7.2	8.0	7.1	9.3	7.5	7.4	7.4	7.6	7.8	7.2
生活環境項目	DO(mg/l)	11	10	7.4	14	11	12	8.9	13	13	12
	BOD(mg/l)	2.5	1.7	17	2.8	5.8	4.4	9.2	2.6	1.0	2.3
	COD(mg/l)	10	5.9	9.4	7.2	7.8	7.4	9.2	6.1	4.3	6.5
	SS(mg/l)	2	<1	4	<1	3	<1	<1	<1	<1	2
	大腸菌群数(MPN/100ml)	2.2×10 ⁴	6.1×10 ³	7.0×10 ³	<1.8	7.0×10 ³	7.9×10 ³	9.4×10 ³	5.4×10 ⁴	1.4×10 ⁴	9.3×10 ²
	全窒素(mg/l)	14	4.0	12	2.7	3.0	6.6	12	5.8	0.60	1.9
	全リン(mg/l)	1.4	0.48	1.2	0.17	0.34	0.68	1.4	0.58	0.047	0.35
その他の項目	電気伝導率(mS/m)	43	62	30	13	34	17	26	27	11	8.9
	塩化物イオン(mg/l)	86	88	49	27	69	30	37	59	64	15
健康項目	鉛(mg/l)	<0.005	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-

水域区分・河川名	矢田川水系					水野川水系					
	海上川	赤津川		山路川	薬師川	地蔵川	新田川	鳥原川	山崎川	蟹川	
調査地点		雲興寺前	不老橋								
採水日時等	採取日	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.10	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14
	採取時刻	14:10	15:15	14:53	14:34	16:10	15:53	16:02	13:57	14:22	14:41
	天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴
	気温(℃)	4.7	7.0	2.9	7.0	4.7	7.2	6.0	7.9	6.0	6.1
	水温(℃)	4.7	3.2	6.7	5.2	4.7	8.0	9.0	10.0	8.2	8.5
一般項目	透視度(cm)	>50	>50	32	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
	臭気	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微下水臭	無臭	無臭	無臭
	流量(m ³ /min)	-	-	-	2.07	-	-	-	-	-	-
生活環境項目	外観	無色透明	無色透明	淡黄色透色	無色透明	淡黄色透色	淡灰黄色透色	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄色透色
	pH	7.4	7.3	7.4	7.7	7.5	7.9	7.6	7.4	7.4	7.4
	DO(mg/l)	12	13	12	12	13	13	13	13	13	14
	BOD(mg/l)	0.6	1.2	2.0	1.0	1.8	1.5	4.4	1.7	2.4	1.6
	COD(mg/l)	4.5	3.9	5.7	4.7	5.3	5.2	7.1	4.3	3.9	3.6
	SS(mg/l)	<1	<1	2	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
	大腸菌群数(MPN/100ml)	2.2×10 ³	4.5×10 ²	2.0×10 ²	6.8×10 ²	4.5	2.6×10 ³	9.2×10 ²	2.6×10 ³	2.0×10 ³	<1.8
	全窒素(mg/l)	0.31	0.23	1.8	1.4	3.0	1.6	5.6	1.2	3.0	0.79
	全リン(mg/l)	0.010	0.008	0.095	0.021	0.23	0.081	1.8	0.093	0.090	0.056
	その他の項目	電気伝導率(mS/m)	6.8	5.2	45	22	16	90	31	12	13
塩化物イオン(mg/l)		6.8	6.5	140	19	19	57	59	16	20	15
健康項目	鉛(mg/l)	-	-	-	<0.005	-	-	-	-	-	-

水域区分・河川名	水野川水系				庄内川水系		
	後田川	比野川	数成川	八床川	定光寺川	日向川 天神橋	蛇ヶ洞川 中平橋
採水日時等	採取日	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14	H29.2.14
	採取時刻	12:48	15:01	15:31	12:23	9:38	10:48
	天候	曇	晴	晴	晴	曇	曇
	気温(℃)	5.6	8.0	10.1	5.0	2.6	4.3
	水温(℃)	9.8	6.0	8.4	6.0	4.0	6.2
一般項目	透視度(cm)	45	>50	>50	>50	>50	>50
	臭気	微下水臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
	流量(m ³ /min)	-	-	0.95	-	-	-
生活環境項目	外観	灰黄色透色	無色透明	無色透明	淡黄色透色	淡黄色透色	無色透明
	pH	7.1	7.4	7.6	7.6	7.3	7.0
	DO(mg/l)	7.1	13	14	15	14	13
	BOD(mg/l)	25	1.3	2.4	1.9	1.2	1.7
	COD(mg/l)	12	2.6	6.8	4.6	3.8	4.4
	SS(mg/l)	7	<1	2	3	<1	<1
	大腸菌群数(MPN/100ml)	2.8×10 ⁴	4.5×10 ³	1.7×10 ³	1.3×10 ³	2.0×10 ²	4.5×10 ²
	全窒素(mg/l)	8.5	0.66	5.4	1.9	0.42	0.29
	全リン(mg/l)	0.46	0.022	0.15	0.081	0.007	0.004
	その他の項目	電気伝導率(mS/m)	35	7.7	30	24	7.6
塩化物イオン(mg/l)		43	9.8	20	45	11	10
健康項目	鉛(mg/l)	-	-	<0.005	-	-	-

※「<0.005」等の記載は、値が0.005未満であることを示す。【環境課】

⑤水生生物(水生昆虫等)調査結果

調査日			7月26日			8月4日				7月28日				7月28日			
河川名			瀬戸川			水野川				矢田川				蛇ヶ洞川			
番号	大分類	調査地点 種類	指標	馬ヶ城	市役所前	共栄橋	旧上品野小	下品野裏小	東曽野橋	荏坪橋	雲興寺前	不老橋	屋戸橋	菱野橋	上半田川	蛇ヶ洞	下半田川
1	昆虫類	カゲロウ			△	○	●			○		△	△	●	●	○	●
2	昆虫類	トビケラ	I・II				△	△	△		●		△	●	○		△
3	昆虫類	カワゲラ	I・II													△	△
4	昆虫類	ヘビトンボ	I				△				●						
5	昆虫類	ヤゴ		●	●		●	●	●	●	○	●	●	●	●	△	●
6	昆虫類	ユスリカ	IV														
7	昆虫類	ガガンボ	I・II				△		△		△				●	△	
8	昆虫類	ゲンゴロウ	II・III														
9	昆虫類	ナベツタムシ		△							●	●	△		△	△	
10	昆虫類	マツモムシ						△							△		
11	昆虫類	ミズカマキリ	II・III														
12	昆虫類	ヒラタドROMシ	I・II														
13	昆虫類	タイコウチ	II・III														
14	昆虫類	ヒメタイコウチ	II・III														
15	昆虫類	ホタル	II・III														
16	昆虫類	ミズスマシ															
17	昆虫類	タガメ	II・III														
18	昆虫類	ガムシ	II・III														
19	昆虫類	ボウフラ															
20	昆虫類	アミカ	I														
21	昆虫類	ブユ	I														
22	昆虫類	ナガレアブ	I														
23	昆虫類	コオイムシ															
24	甲殻類	サワガニ	I				●		△		●				●	●	○
25	甲殻類	アメリカザリガニ	IV	●	△	△		○	△	○		●	△	○	●		
26	甲殻類	スジエビ	I・II						●				△	△			
27	甲殻類	モクスガニ															
28	甲殻類	ミズムシ	III											●			
29	甲殻類	ミジンコ															
30	甲殻類	ヌマエビ		●	●	●				●		●	●	●			
31	甲殻類	ヨコエビ															
32	軟体動物	カワニナ	I・II	△								△			●	△	●
33	軟体動物	サカマキガイ	IV										△				
34	軟体動物	モノアラガイ	II・III														
35	軟体動物	タニシ															
36	軟体動物	シジミ		○	●				●			●	●	△			
37	その他	チスイヒル	III		●	●				●				●			
38	その他	イトミミズ	IV														
39	その他	プラナリア	I											△	△	○	●
合計	● 5匹以上			4	4	3	3	1	3	3	4	5	3	6	6	1	4
	○ 3・4匹								1	2	1			1	1	2	1
	△ 1・2匹			2	2	1	3	2	4		1	2	6	3	3	5	2
	種類数合計			6	6	6	6	4	7	5	6	7	9	10	10	8	7
A	清冽水域 (I)						1			1			1	1	1	1	
A	清冽水域 (I) ~ やや汚水水域			1			2	1	3		2	1	2	2	3	3	3
	やや汚水水域 (II) ~ かなり汚水水域 (III)																
B	かなり汚水水域 (III)				1	1				1				2			
B	極めて汚水水域 (IV)			1	1	1		1	1	1		1	2	1	1		
指数	生物指数 2A+B			3	2	2	6	3	7	2	6	3	6	9	9	9	8
	汚濁指数 Σ(s・h)/Σh			3.38	3.25	3.25	1.17	3.17	1.79	3.40	1.20	3.38	2.75	2.54	1.87	1.19	1.25
	生物学的酸素要求量 BOD (ppm)			1.5	2.1	2.6	2.2	4.3	2.3	3.0	0.9	1.8	1.2	2.3	1.4	1.4	1.4
	河川調査部 A法			7.5	6.5	6.5	29.3	7.0	19.3	7.0	48.0	7.5	6.5	15.0	32.6	29.0	35.0

※「<0.5」等の記載は、値が0.5未満であることを示す。【環境課】

●道路の騒音・振動

○自動車騒音・道路交通振動調査結果
 ・国道363号 西原町

等価騒音レベルLAeq(単位:dB)							
測定期間	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	1月31日	2月1日	2月2日		等価騒音	等価騒音	(環境基準)
6:00	-	70	70	70	70	69	75 (70)
7:00	-	71	69	70	70		
8:00	-	70	70	69	70		
9:00	-	71	70	70	70		
10:00	-	72	69	70	70		
11:00	69	69	69	69	69		
12:00	68	68	69	69	68		
13:00	70	69	68	68	69		
14:00	68	69	72	-	70		
15:00	71	71	69	-	70		
16:00	69	69	70	-	69		
17:00	67	67	68	-	67		
18:00	68	71	69	-	69		
19:00	69	69	69	-	69		
20:00	68	69	69	-	69		
21:00	73	69	70	-	70		
22:00	67	68	68	-	68		
23:00	67	68	66	-	67		
0:00	65	65	66	-	65		
1:00	65	64	64	-	64		
2:00	63	64	63	-	63		
3:00	62	63	63	-	63		
4:00	64	64	64	-	64		
5:00	67	67	67	-	67		
					66	70 (65)	

80パーセントレンジ上端値振動レベルL10の平均値(単位:dB)							
測定期間	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	1月31日	2月1日	2月2日		平均値	平均値	
7:00	-	33	33	34	33	34	65
8:00	-	33	34	35	34		
9:00	-	37	37	37	37		
10:00	-	36	35	36	36		
11:00	34	36	35	35	35		
12:00	33	33	32	33	33		
13:00	34	33	34	33	33		
14:00	34	34	34	-	34		
15:00	35	35	34	-	35		
16:00	33	34	34	-	34		
17:00	31	31	31	-	31		
18:00	30	30	30	-	30		
19:00	30	31	30	-	30		
20:00	29	30	29	-	29		
21:00	28	28	29	-	28		
22:00	27	27	27	-	27		
23:00	25	26	26	-	26		
0:00	26	25	27	-	26		
1:00	26	24	24	-	25		
2:00	24	25	23	-	24		
3:00	24	22	24	-	23		
4:00	27	26	26	-	26		
5:00	32	32	30	-	31		
6:00	36	35	35	-	35		
					28	60	

・国道155号 山口町

等価騒音レベルLAeq(単位:dB)							
測定期間	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	1月25日	1月26日	1月27日		等価騒音	等価騒音	(環境基準)
6:00	-	68	68	69	68	69	75 (70)
7:00	-	69	70	69	69		
8:00	-	70	70	69	70		
9:00	-	70	70	71	70		
10:00	70	70	70	69	70		
11:00	69	70	69	-	69		
12:00	70	69	69	-	69		
13:00	69	69	69	-	69		
14:00	69	69	69	-	69		
15:00	69	69	69	-	69		
16:00	69	69	69	-	69		
17:00	68	68	68	-	68		
18:00	68	68	69	-	68		
19:00	68	68	68	-	68		
20:00	67	67	67	-	67		
21:00	66	66	67	-	66		
22:00	68	65	65	-	66		
23:00	63	63	63	-	63		
0:00	62	63	62	-	62		
1:00	63	63	63	-	63		
2:00	62	62	63	-	62		
3:00	69	63	64	-	65		
4:00	64	65	65	-	65		
5:00	68	68	68	-	68		
					65	70 (65)	

80パーセントレンジ上端値振動レベルL10の平均値(単位:dB)							
測定期間	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	1月25日	1月26日	1月27日		平均値	平均値	
7:00	-	44	45	45	45	46	65
8:00	-	44	46	47	46		
9:00	-	47	49	49	48		
10:00	-	49	48	48	48		
11:00	49	49	47	-	48		
12:00	46	48	47	-	47		
13:00	48	46	47	-	47		
14:00	48	48	47	-	48		
15:00	47	46	46	-	47		
16:00	47	47	46	-	47		
17:00	46	47	45	-	46		
18:00	44	44	43	-	44		
19:00	42	43	43	-	43		
20:00	42	42	41	-	42		
21:00	40	41	41	-	41		
22:00	41	39	39	-	40		
23:00	38	39	34	-	37		
0:00	35	34	31	-	33		
1:00	30	32	36	-	32		
2:00	33	33	33	-	33		
3:00	29	31	36	-	32		
4:00	35	36	37	-	36		
5:00	37	38	45	-	40		
6:00	42	43	46	-	44		
					39	60	

・国道248号 西古瀬戸町

等価騒音レベルLAeq(単位:dB)							
測定期間	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	2月7日	2月8日	2月9日	2月9日	等価騒音	等価騒音	(環境基準)
6:00	-	73	72	71	72	72	75 (70)
7:00	-	74	73	72	73		
8:00	-	73	73	73	73		
9:00	-	73	73	73	73		
10:00	-	72	72	74	73		
11:00	73	72	72	76	73		
12:00	72	71	72	76	73		
13:00	72	73	73	75	73		
14:00	72	72	72	-	72		
15:00	71	73	72	-	72		
16:00	72	72	72	-	72		
17:00	71	72	71	-	71		
18:00	72	71	70	-	71		
19:00	73	71	70	-	71		
20:00	70	70	70	-	70		
21:00	69	69	69	-	69		
22:00	68	69	68	-	68		
23:00	68	67	67	-	68		
0:00	67	66	66	-	67		
1:00	66	67	67	-	67		
2:00	67	67	66	-	67		
3:00	67	67	67	-	67		
4:00	69	69	68	-	69		
5:00	70	70	72	-	71		
						68	70 (65)

80パーセントレンジ上端値振動レベルL10の平均値(単位:dB)							
測定期間	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	2月7日	2月8日	2月9日	2月9日	平均値	平均値	限度
7:00	-	46	45	44	45	47	70
8:00	-	47	47	46	47		
9:00	-	48	49	49	49		
10:00	-	47	48	48	48		
11:00	48	48	48	47	48		
12:00	47	47	48	47	47		
13:00	47	47	48	48	47		
14:00	48	48	47	-	48		
15:00	46	47	47	-	47		
16:00	46	46	46	-	46		
17:00	44	47	46	-	45		
18:00	43	46	46	-	45		
19:00	41	45	45	-	44		
20:00	45	45	45	-	45		
21:00	46	45	45	-	46		
22:00	45	44	44	-	44		
23:00	47	46	44	-	45		
0:00	46	45	45	-	45		
1:00	44	44	44	-	44		
2:00	46	45	45	-	45		
3:00	44	45	45	-	45		
4:00	44	45	45	-	45		
5:00	45	47	46	-	46		
6:00	46	48	45	-	46		
						45	65

・国道155号 十軒町

等価騒音レベルLAeq(単位:dB)							
測定期間	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	2月14日	2月15日	2月16日	2月16日	等価騒音	等価騒音	(環境基準)
6:00	-	72	72	72	72	72	75 (70)
7:00	-	71	71	71	71		
8:00	-	73	73	72	72		
9:00	-	74	73	73	73		
10:00	-	72	72	72	72		
11:00	73	72	72	72	73		
12:00	72	72	72	72	72		
13:00	73	72	72	71	72		
14:00	73	72	72	-	72		
15:00	72	72	72	-	72		
16:00	71	71	71	-	71		
17:00	70	70	71	-	71		
18:00	69	70	70	-	70		
19:00	69	69	69	-	69		
20:00	68	68	69	-	68		
21:00	67	67	67	-	67		
22:00	65	65	66	-	66		
23:00	64	64	64	-	64		
0:00	62	64	63	-	63		
1:00	64	63	62	-	63		
2:00	65	64	63	-	64		
3:00	65	64	64	-	64		
4:00	67	65	67	-	66		
5:00	70	70	70	-	70		
						66	70 (65)

80パーセントレンジ上端値振動レベルL10の平均値(単位:dB)							
測定期間	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	時間	時間帯	要請限度
平成29年	2月14日	2月15日	2月16日	2月16日	平均値	平均値	限度
7:00	-	39	40	38	39	43	70
8:00	-	43	42	42	42		
9:00	-	46	45	46	46		
10:00	-	44	44	44	44		
11:00	45	44	45	44	45		
12:00	44	44	43	44	44		
13:00	44	45	45	45	45		
14:00	44	44	44	-	44		
15:00	44	44	44	-	44		
16:00	41	42	41	-	41		
17:00	38	37	38	-	38		
18:00	36	35	36	-	36		
19:00	33	33	33	-	33		
20:00	32	31	32	-	32		
21:00	30	30	29	-	30		
22:00	27	26	26	-	26		
23:00	21	22	21	-	22		
0:00	14	16	13	-	14		
1:00	12	12	11	-	12		
2:00	20	12	12	-	15		
3:00	21	21	17	-	20		
4:00	27	23	27	-	26		
5:00	38	38	36	-	37		
6:00	42	43	42	-	42		
						30	65

【環境課】

○自動車騒音常時監視結果

路線名	実施年度	面的評価結果（全体）					面的評価結果（近接空間）					面的評価結果（非近接空間）				
		住居等 総戸数 (戸)	昼夜とも 基準値 以下	昼のみ 基準値 以下	夜のみ 基準値 以下	昼夜とも 基準値 超過	住居等 総戸数 (戸)	昼夜とも 基準値 以下	昼のみ 基準値 以下	夜のみ 基準値 以下	昼夜とも 基準値 超過	住居等 総戸数 (戸)	昼夜とも 基準値 以下	昼のみ 基準値 以下	夜のみ 基準値 以下	昼夜とも 基準値 超過
一般国道 155号	24年度	888	93.4% (829戸)	5.1% (45戸)	0.0% (0戸)	1.6% (14戸)	350	100.0% (350戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	538	89.0% (479戸)	8.4% (45戸)	0.0% (0戸)	2.6% (14戸)
一般国道 248号	25年度	212	92.5% (196戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	7.5% (16戸)	92	82.6% (76戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	14.7% (16戸)	120	100.0% (120戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)
一般国道 363号	26年度	712	94.9% (676戸)	5.1% (36戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	143	75.5% (108戸)	24.5% (35戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	569	99.8% (568戸)	0.2% (1戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)
瀬戸環状線	27年度	613	100.0% (613戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	267	100.0% (267戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	346	100.0% (346戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)	0.0% (0戸)
愛・地球博記 念公園瀬戸線	28年度	393	80.9% (318戸)	0.0% (0戸)	15.8% (62戸)	3.3% (13戸)	135	56.3% (76戸)	0.0% (0戸)	43.7% (59戸)	0.0% (0戸)	258	93.8% (242戸)	0.0% (0戸)	1.2% (3戸)	5.0% (13戸)

【環境課】

●公共下水道の状況

○下水道普及率等

項目	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
下水道処理区域内人口①	人	68,389	68,748	70,257	70,450	72,379	74,782	77,110	79,427
生活排水処理計画区域内人口②	人	133,656	133,121	132,778	132,130	131,698	131,269	130,676	130,298
内生活排水処理人口③	人	84,866	86,215	85,230	86,631	88,190	90,668	93,134	96,065
普及率①／②	%	51.2	51.6	52.9	53.3	55.0	57.0	59.0	61.0
汚水処理人口普及率③／②	%	63.5	64.8	64.2	65.6	67.0	69.1	71.3	73.7

※「生活排水処理計画区域内人口」は、各年度末の翌日(翌年4月1日)の人口に等しい。また、普及率、汚水処理人口普及率は、小数第二位の数を四捨五入している。

【下水道課】

●都市交通に対する満足度

○総合計画市民アンケート調査結果

設問		鉄道やバスなどを利用して、移動に不自由することなく日常生活を送ることができていると思いますか。					
項目	単位	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答	合計
20年度	回答数	123	264	282	312	37	1,018
	構成比	12.1	25.9	27.7	30.6	3.6	100.0
23年度	回答数	152	266	301	277	33	1,029
	構成比	14.8	25.9	29.3	26.9	3.2	100.0
26年度	回答数	149	258	248	246	28	929
	構成比	16.0	27.8	26.7	26.5	3.0	100.0
28年度	回答数	85	242	278	329	75	1,009
	構成比	8.4	24.0	27.6	32.6	7.4	100.0

※構成比は、小数第二位の数を四捨五入している。

【経営課】

●公害苦情処理の状況

○公害苦情処理状況

主な申立内容	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
大気汚染	件	17	13	9	9	12	9	18	9	9	9
水質汚濁	件	36	24	27	33	43	31	30	27	35	27
土壌汚染	件	1	1	3	0	1	2	1	0	0	0
騒音	件	20	28	18	19	24	41	40	32	30	44
振動	件	1	2	1	1	1	2	3	1	1	1
地盤沈下	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	件	35	87	84	58	64	58	47	59	71	52
その他	件	12	13	22	19	13	8	18	16	22	13
合計（苦情申立件数）	件	122	168	164	139	158	151	157	144	168	146
感覚公害（騒音・振動・悪臭）件数	件	56	117	103	78	89	101	90	92	102	97

【環境課】

●指定・登録文化財の数

○指定・登録文化財一覧

区	種	別	指定名称	時代	指定・登録年月日	
国指定	有形	建造物	定光寺本堂	室町後期	大正15年 4月19日	
			源敬公(徳川義直)廟、焼香殿他	江戸前期	昭和12年 8月25日	
		工芸品	陶製狛犬	鎌倉	大正元年 9月3日	
			太刀銘助重	鎌倉中期	大正8年 4月12日	
			太刀銘守家	鎌倉中期	大正8年 4月12日	
			猿投灰釉多口瓶	平安前期	昭和50年 6月12日	
			渥美灰釉芦鷺文三耳壺	平安末期	昭和51年 6月5日	
	陶製五輪塔	平安末期	平成7年 6月15日			
	民俗	有形民俗	瀬戸の陶磁器の生産用具及び製品	江戸以降	昭和49年2月18日・昭和50年9月22日	
	記念物	史跡	瀬戸窯跡 小長首陶器窯跡	室町中期	昭和46年7月13日・平成14年3月19日(追加)	
瀬戸窯跡 瓶子日陶器窯跡			江戸前期	平成27年10月7日		
志段味古墳群 尾張戸神社古墳			古墳時代	平成26年10月6日		
県指定	有形	彫刻	木造阿彌陀如来立像	平安末期	昭和34年 1月16日	
			木造十一面観音菩薩立像	平安末期	昭和34年 1月16日	
		工芸品	御深井釉木瓜形水盤	江戸前期	昭和57年 3月31日	
			陶製牡丹文経筒外容器	平安末期	昭和59年 2月27日	
			猿投灰釉短頸壺	平安中期	昭和59年 2月27日	
			鉄釉巴文瓶子	鎌倉末期	昭和59年 2月27日	
			御深井釉唐草文双耳水甕	江戸中期	平成4年 2月28日	
	猿投灰釉短頸壺及び平瓶	平安前期	昭和59年 2月27日			
	考古資料	工芸技術	陶芸織部・黄瀬戸	-	平成16年 8月20日	
	無形	民俗	有形民俗	陶製狛犬コレクション	室町～大正	昭和59年 3月30日
市指定	有形	建造物	一里塚本業窯	昭和	昭和50年 7月21日	
			直入橋	江戸前期	昭和58年 6月1日	
			石燈籠	江戸前期	平成4年 2月21日	
			石燈籠	江戸前期	平成5年 2月19日	
			石造鳥居	江戸前期	平成5年 2月19日	
			洞本業窯	昭和	平成7年 2月13日	
			石造鳥居	江戸中期	平成8年 2月9日	
			古窯(こがま)	昭和	平成9年 2月14日	
			深川神社本殿	江戸後期	平成11年11月12日	
			常夜燈	江戸後期	平成13年 2月7日	
		彫刻	石造薬師如来坐像	江戸中期	昭和60年 5月1日	
			石造地藏菩薩立像	江戸中期	昭和60年 5月1日	
		工芸品	絵画	聖徳太子絵伝	室町中期	平成18年 2月10日
				六角陶碑	江戸末期	昭和49年 4月1日
				永享年銘梵鐘	室町中期	昭和57年 3月1日
				陶質十六羅漢塑像	江戸末期	昭和57年 3月1日
				志野焼燈籠	明治	平成5年 2月19日
				織部燈籠	江戸後期	平成8年 2月9日
				染付花唐草文大燈籠	明治	平成9年 2月14日
				染付花鳥図蓋付大飾壺	明治	平成10年11月20日
				古瀬戸瓶子	鎌倉中期	平成17年 2月10日
				古瀬戸瓶子	鎌倉	平成25年 3月18日
				聖徳太子伝	室町中期	平成18年 2月10日
	大般若経			鎌倉・室町	平成20年 9月12日	
	織田信長の制札			室町末期	昭和53年11月1日	
	窯屋証文			江戸初期	平成9年 2月14日	
	陶製梵鐘	昭和	平成9年 2月14日			
	祠堂帳	室町	平成11年11月12日			
	笠原村・両半田川村国境争論絵図	江戸前期	平成16年 2月6日			
	松原広長寄進状	室町中期	平成18年 2月10日			
	古文書	加藤唐三郎家文書	江戸～明治	平成6年 2月18日		
		加藤新右衛門家文書	江戸中期	平成6年 2月18日		
		松本茂助家文書	江戸～明治	平成13年 2月7日		
		菱野郷倉文書	江戸～昭和	平成20年 9月12日		
	無形	工芸技術	陶芸黄瀬戸	-	平成18年 2月10日	
			陶芸織部	-	平成18年 2月10日	
			陶芸灰釉	-	平成19年 5月18日	
			陶芸色絵磁器	-	平成19年 5月18日	
			陶芸御深井	-	平成20年 5月9日	
			有線七宝	-	平成22年 6月18日	
			陶芸練り込み	-	平成22年 6月18日	
	民俗	有形民俗	菱野のおでく	江戸～大正	平成17年 2月10日	
			品野祇園祭の神武天皇像及び従者像	昭和	平成25年 3月18日	
		無形民俗	山口の警固祭り	江戸以降	平成15年 2月7日	
			菱野のおでく警固祭り	江戸以降	平成20年 9月12日	
	記念物	史跡	本地大塚古墳	古墳中期	昭和51年 5月1日	
			宮地古墳群	古墳中後期	平成5年 2月19日	
広久手第30号窯跡			平安中期	平成18年 9月27日		
名勝		石樋	-	平成4年 2月21日		
		目鼻石	-	平成7年 2月13日		
天然記念物		マルバタラウ	-	平成9年11月18日		
		マメナシ	-	平成16年 2月6日		

区	種	別	指定名称	時代	
国登録	建	造	物	雲興寺鐘楼	江戸中期 平成12年12月26日
				瀬戸永泉教会礼拝堂	明治 平成22年4月28日
				旧山繁商店 離れ・事務所・旧事務所・土蔵・新小屋・前倉庫・中倉庫・奥倉庫・堀	明治～昭和 平成27年11月17日

【文化課】

●お祭りの参加人数

○観光レクリエーション(祭・イベント)利用者数

区分	開催時期	単位	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
陶のまち 瀬戸のお雛めぐり	2月上旬～3月上旬	人	81,000	89,000	92,000	92,000	112,000	92,000	96,000
せと陶祖まつり	4月	人	80,000	83,000	78,000	78,000	73,000	60,000	44,000
せとなまつり	7月中旬～8月末	人	119,000	132,000	114,000	93,000	94,000	111,000	124,000
せとも祭	9月	人	450,000	420,000	440,000	390,000	490,000	430,000	370,000
来る福招き猫まつり in 瀬戸	9月	人	68,000	80,000	64,000	86,000	84,000	86,000	75,000
せと・まるっとミュージアム大回遊	11月	人	36,000	37,000	38,000	33,000	33,000	28,000	6,500
陶のあかり路(せと・まるっとイルミネーション)	12月	人	62,000	65,000	23,000	-	-	-	-

【瀬戸市統計書(平成29年刊)】

●都市公園の面積

○都市公園面積

単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
都市公園面積 ha	107.07	107.07	108.35	108.35	108.35	108.35	108.45	108.45	108.45	108.66	109.05
市民一人あたり都市公園面積 m ²	8.09	8.05	8.12	8.11	8.14	8.16	8.21	8.23	8.24	8.32	8.37

※「市民一人あたり都市公園面積」は、各年度末の翌日(翌年4月1日)の人口を使用して算出した。

【瀬戸市統計書(平成29年刊)】

●住環境に満足を感じている市民の割合

○総合計画市民アンケート調査結果

設問		住宅や商業地、工業地など秩序ある土地利用が進められ、土砂災害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。					
項目	単位	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答	合計
20年度	回答数 人	46	373	399	174	26	1,018
	構成比 %	4.5	36.6	39.2	17.1	2.6	100
23年度	回答数 人	62	368	372	190	37	1,029
	構成比 %	6.0	35.8	36.2	18.5	3.6	100.0
26年度	回答数 人	63	346	336	164	20	929
	構成比 %	6.8	37.2	36.2	17.7	2.2	100.0
28年度	回答数 人	48	304	382	190	85	1,009
	構成比 %	4.8	30.1	37.9	18.8	8.4	100.0

※構成比は、小数第二位の数を四捨五入している。

【経営課】

●一般廃棄物(資源物を含む)の量

○ごみ・資源物回収量等

区分	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
家庭ごみ	t	29,158.75	29,874.63	27,664.63	26,845.12	26,717.72	27,134.71	26,473.37
事業系ごみ	t	8,770.64	7,240.19	7,373.66	7,441.40	7,624.59	7,842.71	7,928.42
資源物※	t	7,532.21	8,182.38	8,160.42	7,889.73	7,554.72	7,260.29	6,767.24
合計	t	45,461.60	45,297.20	43,198.71	42,176.25	41,897.03	42,237.71	41,169.03
1人1日あたり排出量(ごみ・資源)※	g	755	785	743	723	715	721	699
資源化率※	%	20.5	21.5	22.8	22.7	22.0	21.1	20.4

※資源物の内訳は、年度によって異なる場合がある。

※「1人1日あたり排出量(ごみ・資源)」は、各年度末の翌日(翌年4月1日)の人口を使用して算出した。

※「資源化率」=資源物÷(家庭ごみ+資源物)×100

【環境課】

●保有される自動車の総数

○保有自動車数

単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
保有自動車数 台	85,701	85,726	86,311	86,914	89,562	85,925	90,179

【瀬戸市統計書(平成29年刊)】

●公共施設での電気の使用量

○使用電力量

単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
使用電力量 kWh	1,487,185	1,418,482	1,662,304	1,633,456	1,467,260	1,409,400	1,076,750	1,131,986	1,055,501	1,030,196

【環境課】

●公共施設での新エネルギー導入状況

○太陽光発電システム設置施設一覧

設 置 施 設	規 模	導 入 年 月
品 野 台 小 学 校	30.6kW	平成11年1月
新 世 紀 工 芸 館	1.1kW	平成11年1月
春 雨 墓 苑	1.9kW	平成12年3月
瀬戸染付工芸館 (旧マルチメディア伝承工芸館)	3.0kW	平成12年3月
祖 母 会 公 民 館	10.0kW	平成15年2月
デジタルリサーチパークセンター	15.0kW	平成15年6月
瀬 戸 蔵	10.0kW	平成17年2月
道 の 駅 瀬 戸 し な の	5.0kW	平成23年3月
品 野 台 地 域 交 流 セ ン タ ー	5.5kW	平成23年4月
瀬 戸 市 役 所	20kW	平成26年10月
合 計	102.1kW	-

【環境課】

○廃棄物発電設置施設一覧

設 置 施 設	規 模	導 入 年 月
晴丘センター (尾張東部衛生組合)	1,469kW	平成4年4月
合 計	1,469kW	-

【環境課】

○温度差エネルギー設置施設一覧

設 置 施 設	規 模	導 入 年 月
水 野 浄 化 セ ン タ ー	8,621kcal/h	平成12年3月
合 計	8,621kcal/h	-

【環境課】

●環境基本条例・環境基本計画を知っている市民の割合

○第2次環境基本計画市民アンケート調査結果

設 問		「瀬戸市環境基本計画」を知っていますか。			
項 目	単 位	はい	いいえ	無回答	合計
21年度	回答数	81	756	14	851
	構成比	9.5	88.8	1.7	100.0

※構成比は、小数第二位の数を四捨五入している。

【環境課】

平成29年度年次報告書に寄せられたコメント

この年次報告書は、瀬戸市環境基本計画の推進の状況を市民・事業者のみなさんにお知らせするためのものですが、計画では、市民・事業者のみなさんと一緒に計画を推進していくことが掲げられています。本年度の年次報告書の作成にあたり、せと・まるっと環境クラブ、瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議に参加して下さっている有志の方々からお寄せいただいたご意見を紹介いたします。

【リーディングプロジェクト① 豊かな自然を守るプロジェクト】

- 当実施状況には瀬戸市自然環境保護保全特定地区（2地区）が決定された旨の記載があるものの、その具体的内容が分からず、理解ができていません。せっかく市民に特定地区を公表されたのであるなら、指定場所が何処であり、どのような自然保護と保全活動を検討されているのか、その構想についても具体的にわかりやすく公表されるべきではありませんか。

【リーディングプロジェクト⑥ 環境を知り、まち全体が連携して取り組むプロジェクト】

- 我々が活動している「せと・まるっと環境クラブ」は、瀬戸市環境基本計画における豊かな自然環境を守るため、自然環境や生態系の保護と保全の仕組みを作るプロジェクトの一環として立ち上げたパートナーシップ型の組織で、既に創設後3年を経過しています。年次報告書（案）には一定の活動報告が記載されているものの、今までの活動内容が、はたして第2次環境基本計画が求めている自然観光資源の魅力の発信と観光への活用に十分寄与できているか甚だ疑問です。

また、新たな展開として瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議との連携が計画されていますが、ここで求められる目的展開のプランニングも明示していただきたいものです。

【基本方針① 自然を守る】

- 国、県、市有林は行政で保護、保全は可能と思いますが、問題は民有林にどう対応できるのか？所有者が自分の山の境界が解らない、自分の山の位置もよく知らない。豊田市が人工林の団地化を進めようと作業を始めましたが、上記の問題が解決できず計画が大幅に遅れてるそうです。開発の名の元に民有林の自然破壊を阻止できる法がありますか。
- 河川、池沼、湿地の生物はこぞって絶滅危惧種です。河川は特定外来種による在来種の危機、一部にしか残っていない池沼・湿地は、周辺の高木化で固有の植物は消滅が心配されます。早急に保全すべきです。
- 生物多様性とは、多くの種類の植物があることです。なぜなら植物以外の全生物は、直接間接に植物に依存して生きているからです。宅地や道路などで寸断された森はトンネルなどにして、森の回廊で繋げる工夫を望みます。

【基本方針② 自然と親しむ】

- 未来を担う子供たちを重点に自然と触れ合う機会を増やして自然の仕組みや、人間が森から受ける恩恵や大切さを学んで戴くことが豊かな自然を未来へ繋げる早道と思います。
アンケートでは自然と親しむ関心度が意外にも低く、未来の人類存続の危機が強く懸念されます。
- 里山は生態系が豊かではありますが、昔は生活のために、エネルギー源や肥料の芝草、などに森林などを利用して出来上がった姿で里山として作ったものではありません。現在、里山を保全維持するには、その為に多くの人手と大変な労力をかけ続けなければならず、むりがあります。
私が地主さんの了解のもと、カタクリの里の保全を兼ねて周辺の山を里山風に整備を行なっておりますが、一人のみの作業量ではオボつきません。
食料自給率 40%を切っている現状では自給率向上を図る施策を実施しなければならないと思っています。
- この基本方針に関して、普段から自然の中で遊び、自然の楽しさや素晴らしさを知らなければ自然に対する感心は薄いと思います。イベントがある特別な日だけではなく、普段から気軽に釣りや魚取りができるように河川を整備し、虫取りが出来る遊び場を作ることが自然への感心を深め、親しみを持って貰うことに繋がると考えます。
また人工的な自然を造るのではなく、本来からそこにある自然を復元することで、各世代に共通した自然観を醸成することが出来ると思います。
※先日、江南にあるエスプレックミック株式会社という在来種で緑化をする事業を行っている会社を見学してきました。まさに「本来からある自然の復元」を事業として取り組まれ、非常に先進性を感じました。

【基本方針③ 安全・安心に暮らす】

- 安全を考えず、限りない、人間の欲得のなせる結果ですが、今は日本だけの問題では無くなっている。世界的な解決を求められます。

【基本方針④ 心豊かに暮らす】

- 昨年度もコメントしたところですが、国・県・市で 77 件の文化財が指定されています。このうち市指定は 52 件あります。しかし、その大半の 35 件は工芸品や絵画・文書等として管理され、環境問題とは直接関係ありません。残り 17 件のうち 13 件は史跡や建造物でこれも管理者が決まっています。しかし、2 件の名勝（目鼻石・石樋）や天然記念樹 2 件（マルバタラヨウ・マメナシ）は管理者がありません。それ以外にも、瀬戸市教育委員会が 20 年前に「瀬戸の名木」100 撰という冊子を出して、瀬戸市に存在する貴重な樹木が紹介されているのですが、これらの樹木の一部については、既に枯死倒木や伐採で喪失しています。また、名勝地についても現場は倒木やごみ無断投棄で無残な状態です。これらの自然遺産は喪失すれば 2 度と復元できないものばかりで公共の宝です。一部については地域や任意団体が自主的に管理していますが、それとて資金面や所有権関係で十分とはいえません。行政へ整備を求めても財政支出が伴うため、簡単ではないことも承知しますが、少なくとも監視パトロール組織を創設して、現状以上の環境悪化を食い止めることはできませんでしょうか。

- 街中に緑を多くすることにより、夏のヒートアイランドが防げる。落ち葉を嫌う人もいますが、快適生活のお礼に皆んなで掃除する習慣にしたい。

日々挨拶を交わし、思いやり助け合う、感謝の心で心豊かな街づくり。地球にやさしく暮らす、は思い上がり。

【基本方針⑤ 地球にやさしく暮らす・営む】

- 森林を減らさない。森林自体が炭素を固定し植物から蒸散する水分が気化熱を奪うため、地中から掘り出した化石燃料をエネルギー源に利用している間は脱温暖化は無理。二酸化炭素を炭素にして地中に戻せば脱温暖化は可能。

- プラスチックなどの無機質物質から生産、消費が氾濫していて、そのゴミ処理が行政の頭痛のたね。還元(リサイクル)産業がどこまで解決できるか人間の知能に期待するのみです。

【基本方針⑥ 人と地球を育む】

- 地球が温暖化しても、緑の自然が破壊されても、地球は何とも有りません。人類存続の危機が迫っている事が大問題なのです。

過去に5回地球上で生物絶滅の危機がありましたが、その度により進化した生物が現れ人間まで生み出しました。

現在、第6の生物絶滅の危機と言われ、地球上の生物の25%が絶滅か絶滅の危機に瀕しているそうです。

自然の仕組みの中の、物質循環は収支ゼロで完璧に成立しています。

経済優先の自由形社会も生産、消費、分解還元の成立した社会を確立出来るように目指さなければなりません。

クリーンエネルギーのソーラー発電所があちこちに目立ち、又計画の話も耳にします。確かにクリーンエネルギーですが、農地を潰し、山を削り、行く先はそこが土砂災害の元になりかねない。リスクがあまりにも大きい。

各家庭の屋根にソーラーシステムを普及出来れば、自然破壊も起こらず一石二鳥で、そういう施策に期待致します。